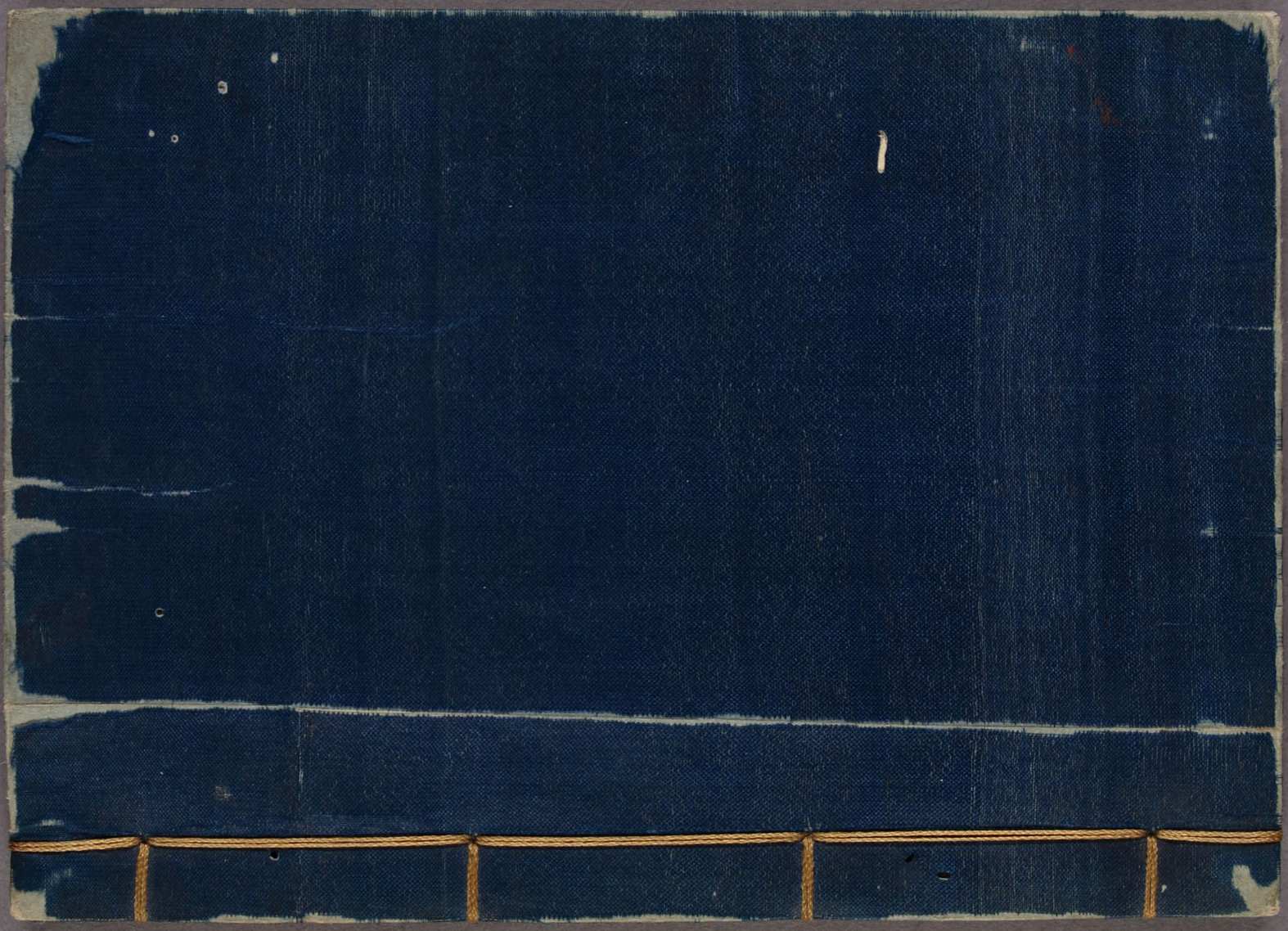
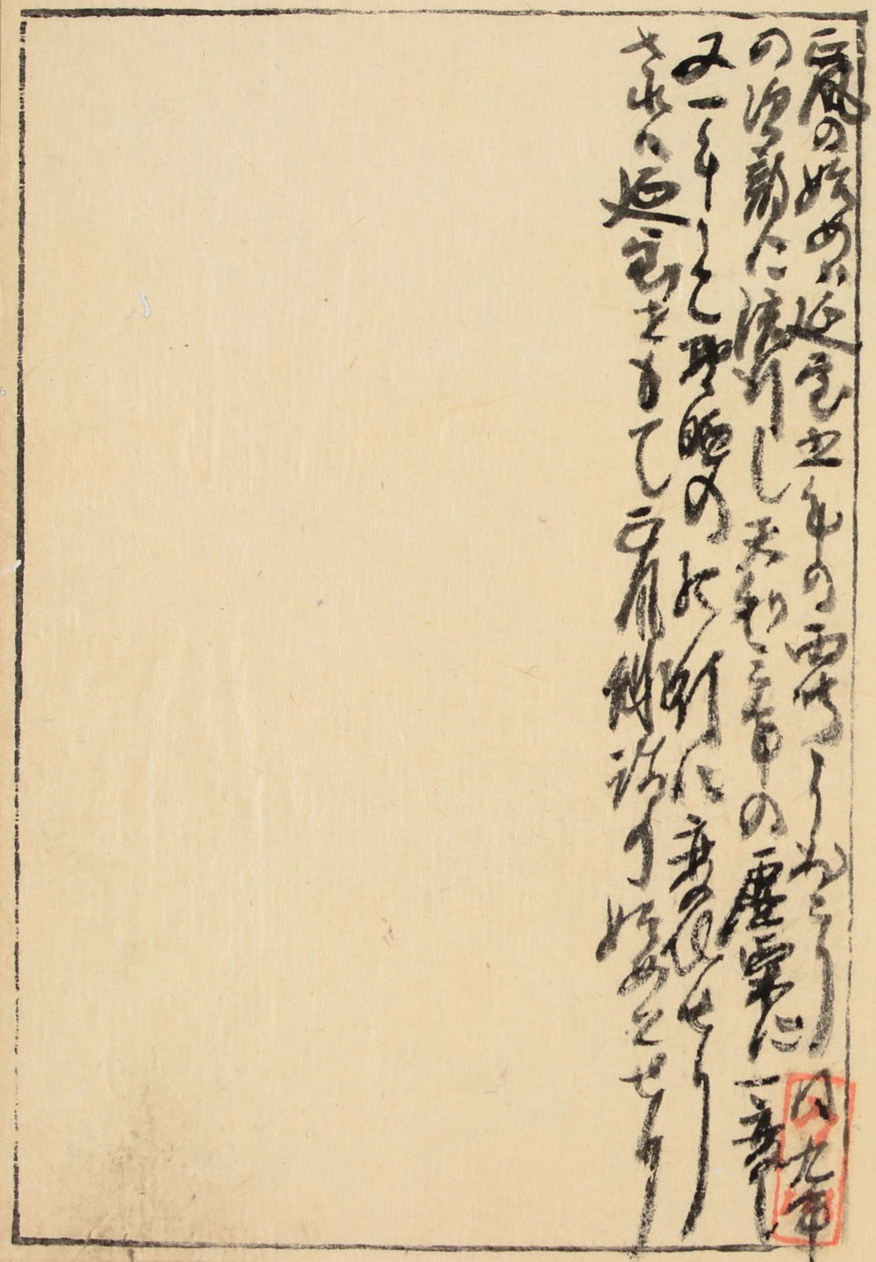


春日　貞享十元年
冬日　元禄三年六月
比伐古　元禄四年
猿蓑　元禄七年閏五月
續猿蓑
炭俵　元禄二年
阿羅野



さいの日をのべまうけ侍よる周防のわとふ紙
ゆのけしうすべゆるをきてきの結てゆるらあ
あつとてちひさ紙あんつ〻〻〻出すこれなん
そを紙をあれ唐〻商ふそて結へさるをいのふと
ふしく四角紙数へる人は拭紙盛〻もく紙をの
なうらのまきしくさをを毛ハたくやもく分ふへ
きかを紙かくむと用ふ〻てふふうをかき
をふ諸〻の中〻ちもん〻すをのすをいさ〻ろ
そ〻ふをを〻しひてんやいふをのれ紙魚てふ
虫乃まく〻やゆりてあるをこ好〻と〻もいまさ
をいいのをふかををひ〻まををひ〻をある

の篇紙さへ見ぬまくされをみうよ〻ををんん
をハをを〻ふ周〻なきみ〻とあ〻されを
ひすれいなのさ〻ふいる〻侍ハ井〻く
侍士ゆ紀てかやゆへんむう蕭約をを紙紙
をくのかしらよをくをひの第ゆいまる周
ハ十舒を祢つ〻のゆふきを〻ねふ懸ふん
とすを十紙ハ潤秋をもいをんか唐大和め
さうれかを〻〻いへをもを心用〻をへしをく
猿あるちりををくに風身のををとたをみよを云
蓍老水母散人呉行のよりやの田まれ
をるを

春日

春日

春乃日

曙そむる人くれて戸和あひく樊田のあさよゆきぬ波
しゝ永さハがしくなりゆくは并松のあもるくワらう
ていけどうあり方去の牧ゆをけら竹墻ちどちきるちち
より名はれ音きをれ毋ひ出侍る

二月十八日

春かくや人さ角くれ伊勢寺　荷今
拾ちる中馬ちがく　連　寺去
山ちむ月一時ち鶯立く　雨桐
遥ちがら乃火ちあるちる　雪風
ちる風ちくるちる　昌圭

くちうよ沖の岩ちくちる　挑音
浜ち方ちの沖の情ち脱ちむ　ちる
ちのくちあるちる籠ちいるくく　荷今
文ちの方ちよるちる去へちく　雪風
面の雪ち解　乃ちあ　草　雨桐
ハ方ちる一度ちを置ちをどく世ち　荷今
傾塠ち乱ちうくち　巖　昌圭
方鄰ち読ちく人の影移ち　雨桐
ちや　くちとの方ち清雲かく里　寺去
雪ちよちまちる奥ち砂行ち　昌圭
并ち雪男乃ち鄰ちあくる法　雪風
術ちよき法でちあちらち鞠ちあ音や　寺去

入る家日ゝ蝶いとぐ　茨芋
うつりすまし妻あるる家に連歌す　雪風
うゑ桐　棒　きり　あるる　雨桐
思ふ人　思ふ人ぞ孫に切殺し　荷兮
いくもろこしこそ　五位乃計之　昌達
松の赤ゝ　高田の門ちうの門ぞ　雨桐
ちぐさ　はあ　ゝも見へぬ時雨哉　之五
新朗　雪腐を考ふ　れる　昌達
高俳　高ぐ　秋あり　雪風
穂蓼　ふ蓼を作ぬ　之五
赤蓼を作の名ぞ　茨芋
傘一の内　遠行ある雨の暮ゝ　雪風

旦藁　雪方　茨芋

紅葉おくる　雨桐
ぐれ西行ぐ　茨芋
泊瀬　を二人　昌達
雪あ　雨桐
把念　之五
いくを　岩雪
月も　雪風

三月六日　雨水亭
京坂や畑うの山の八重さく
切麻一　ゝすむ　の清　雪方
裏の孫　ん清　茨芋

ロ　とくべき法ながら　　越人
松風ばかりとどれぬ秋の宿の碎　　羽笠
貴殿しるる虫ともかな　　桃青
ウ
笠白き白泰　　散水
菊ある垣ちよいとくとく　　旦藁
表町ゆづりく二人髪剃んん　　越人
曉いつる車ゆくく　　春兮
鰐百ちく太陳の濱に入ぬる　　旦菜
行やらすむ亦かも乃　　越人
旅衣あさがぎりを牡丹にて　　羽笠
義ふとをすの乃ちら　　散水
里人の蕎を踏れ秋乃雨　　越人

八

月なき浪ち　きを石をくく　　羽笠
あろびさる市乃　　散水
風をせぶまの　　旦菜
のどかや巻菜の　　越人
内付のえらぶ代と　　春兮
物ろふ軍の中　　羽笠
名も稀栗とだちや　　散水
太年を会併さ　　旦菜
古のど季亦ち　　越人
乾夕の芳茶の　　春兮
茶あり北ゆさ　　羽笠
一夜ろば茶をろ　　散水

こゝ暫ゐ清らきさゝぎ此月　旦芝蘭
踊出されもへ踊りふる夫婦ぬて　越人
まろ雨袖ぬ　此音いるぐく　蕉分
田を指く蛙ぬる里ゑ生ゝ　羽笠
力の筋を清ぐし　中れる　野水
鍾や三井のまき此ぬ　旦芝蘭
ちひくのこゞ雪の山く　越人
入ぬけるぬ此の月きき　蕉分
春の清ゑ氷ふこゝけ　羽笠

三月十六日旦芝蘭が田家ゑまねきて
魅のこゝ寺くゆゝしき森ぬ　野水

額ゑ清ぬ雨の　旦芝蘭
巌ぬ立る岩ゑ本の奥き苔うて　越人
すゞくく人を入ぬ寄るの子　蕉分
立くれる成しの森の月新平　冬文
芦の穂を指る傘の　端　桃隣
破隙ゑ絶餘君の結の紫ぬく　旦芝蘭
岩のるゝより蕊入ゆる　里　野水
雨の日も紙　焼やゝむ煙　生月　蕉分
ひゞきぬ　も　蛙の　一ぼゝ　越人
春ぬ清ゑ　ハ清ぬ　清れく　野水
解くゝや　れる　むぬ　枝ひすゞ　雲　冬文
ぬ青ぬ文ぬ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

同十九日荷兮室にて

咲まけの菊よりはしき白露で　越人

秋の和名うらら　順　旦藁

初丁の月よりぶらぶら火を打ぬ　多文

前の月よりぶらぶらと柴　萬兮

沈で花四の高らいい唐輪ゆく　旦藁

まりりの笠もむづかし　壮水

二

永きはやを哀を咲はる忘ぶん　萬兮

蓑のゑ笠生るる月雨の中　越人

紀鶴　鶴が瓢ハあらく米をなく　壮水

連歌のあらいそぐ　多文

俳壇に集押まぎく音とみん　伐人

岩菖蒲　蓑をさをくれ　旦藁

むさぐりに哀きくあらく世の中　多文

蓮二枝もひろ赤　糸　庵　越人

鶏ぐの高あられさに毒低ら　旦藁

蓑おを送らきあぐの月　壮水

風のあき秋の日舟に網入　萬兮

ウ

多羽の陵のおぐらひろ　多文

あらまのざこね糸ぐもぐ高　壮水

けらら一部ぬ蓑の名もおし　萬兮

京まの若水沼に豆起ら　伐人

鮒をらひいらい若が代　旦藁

山を花不殘ぶ拾ぶ日ら　多文

暮ずてぶぜ言葉 吟ちり　苔雪

追加

三月十九日舟泉亭　殘人

山ぶきのあぶるき廻のらづわび　舟泉
蜂ゑのこよおろる山花もし　駐雲
きさらぎや餘酒すべきをあって　桑蔵
沈幸のさ先ふ淺ふ土器　苔雪
新自を奪ふ舟祝治のいろめく　執雪
月ゆき宇の門ちやくあゆ

春

昌陸の雲ふけ春雨代の去　利重
えロの水の弓れ鶯ゆるし　雪

初雲の遠里牛のあきロ哉　昌雪
、ちきの雲海ちゑ孤あり春の糸　雨桐
門ち雲苟藥園の春雪し　舟泉
鯉の春水玉の園く梅白し　羽笠
舟〳〵の小松ふ春什殘りり　四藥
曙の人新牡丹嶽」ひきり　牡丹
樓てしえ元日里の曙りり邪　華夕
星ちゑ〳〵うすあ先の江方の雲　春嶽
ふふても小雲貝ふん牛の春　雖雪
新日二分柳の新く白ひう邪　蕪笑
、先明ふ牡の末ひくき嶽哉　同
芹摘ふ〳〵こけく汐ゆき瓢り邪　且藥

北の小さき人の許へ行とて

こゝ迄れば白雲いとゞ多き

古池や蛙とびこむ水の音　芭蕉

傘洛の腰の胡蝶のやうに哉　素堂

山や花墻根の泥やうの哉　亀洞

花よ埋れ水よ蒼かれ春の雨　越人

春雨吟

見送よ柳を曲る蕭　二川　杜国

蘇寺うらの小ぬものさびし哉　李風

板ぶき屋根の遅き泳の非　義兮

餞別

花の花さそふ山ひく別哉　桃人

山畑乃菜つゝとをしたり夕日哉　芭蕉

蚊ひとつよ森まれぬ花まさを哉　月

夏

行〳〵きしたの山ふもとかたびら　九白

行〳〵きしたの山ふもとかたびら　李風

うつこゝろ板屋の宵戸の一里塚　越人

ゆこゝろ板屋の宵戸の一里塚　杜国

ゆこゝろ板屋の宵戸の一里塚　亀洞

ゆこゝろ板屋の宵戸の一里塚　舟泉

傘洛の宵戸の一里塚　青峰

武蔵坊とゝ寺の衣川　青峰

ゆく〳〵かけやゆく〳〵の衣川

逢坂の関を見ぬ人に逢坂

[illegible]

老聃曰知足之足常足　独吾

[illegible]の新炊[illegible]　伐人

[illegible]の微雨[illegible]　柳雨

[illegible]　壁交

[illegible]　[illegible]

蓮池の[illegible]　日

[illegible]の[illegible]　呂玉

[illegible]

[illegible]川の青[illegible]　[illegible]

辞喰品の三界[illegible]安[illegible]如火宅[illegible]

[illegible]

六月の汗[illegible]　伐人

秋

[illegible]の畑[illegible]　日[illegible]

[illegible]家の[illegible]

[illegible]　[illegible]人

[illegible]　[illegible]

[illegible]　芭蕉

[illegible]人と[illegible]　伐人

[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

八[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]　日

[illegible]

[illegible]

、秋のゝう[illegible]

[illegible]ハ赤一[illegible]ん[illegible]感[illegible]

[illegible]

、[illegible]ハめ[illegible]ル牛[illegible]夕日の[illegible]れ　[illegible]

芭蕉翁[illegible]富[illegible]

、[illegible]

[illegible]の[illegible]蕉

[illegible]の[illegible]

、[illegible]

[illegible]の[illegible]

、[illegible]

[illegible]の[illegible]

、[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]

冬日

八ウ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いまぞ恨の矢をたゝかひ　荷兮
ぬす人乃記念の雲の吹おろす　芭蕉
ちぐ〳〵家抵の名をつけし水　杜国
笠ぬぎて夜程よもぬる小時雨　荷兮
えとゞれて寒しひゝく唐苣　野水
ちぐ〳〵と碎りし人の背の伝　杜国
烏城いちびすの國はうゝゝ　亦去
あるゝ小さき謎にもとゝ作りし　野水
秋水一斗そゝつくも夜で　芭蕉
日東の李白ぞ坊主身をたゝく　亦去
市の東撞球をさむ跟賢打　荷兮
うゝーの沢とぶ〳〵蛙そまの夕くれよ　芭蕉

鰥　コンロ
箕子鮪の魚　沈いもぐ　春
つぶいのゝあ　ぶ〳〵の昼ひべく　杜国
ぶ〳〵そいのゝの　ゆふ　荷兮
綾ひゝく　湯　赤笑の　野水
廊下ハ　の　げつ　杜国

あるへゞも　牡　春
いまぶ　ぶ〳〵ろもと　振り　埜水
ぶ〳〵童のゝ　も　移きてう　飯食　杜国
ぶ〳〵ぶ　ん　蕪　乃　芭蕉
野菊おぐ　ぶ　ぬる　蝶乃羽　荷兮
ぶ〳〵市　れ　ひきう

麻呂が月袖の鞠敷ごとくなん　重五

桃花紙さとる貞徒の富　正平

雨こぼる沙香の田環おりうへて　杜丞

奥のさゝぐ城品をきれなく　世水

床あるまで沙ゝとなる男　蔦分

孫ごもりげの恨このとりし　之義

におーと瘤をもちぎは地うゝるゝ　北多

明日ゆうゝ来よゝ送りきん　辛玉

小之ゝ盃ゝ敷ひゝんりゝ　芭蕉

月を医うれ牡丹ぬき人　杜丞

縄あゝのかりハをぶれ望ゝく　之玉

ありくゝ地ゝ切所　蔦分

初ゝれの世ゝ色物のゝ

うぶ砧いゝのゝまでこのハゆき

梯ごとに俳ゝゆゝ称やゝのゝ

ゝゝひゝ起ゝ紙ゝ燭ゝ命

簾ゝゝく猪垂椅の帯さび　人

之線ゝん石破のやき　芭蕉

ゝすゝ笑法ぐ打する碁を高

称ざゝゝのさゝても七十　杜国

奉かゝゝ市堂よ金ゝゝゝ　蔦分

りゝの傘の下拳りさん　杜丞

蓮池ゝ警の子遊ふゝ主　芭蕉

まゝにゝつゝ薄帷を義　蔦分

月よきてふ唐輪の髪の赤結て　荷兮
恵せぬさめの臨済をまち　野水
秋蟬の虚よりきくこのさハ　芭蕉
笹の實つふ京わらちり　杜国
秋うり砧をひゝき山のけに　芭蕉
飛こうの典侍の高ゐ内侍の　杜国
三ケ月花鬱蒸屋ふるのうるいくさ　荷兮
一ら忍しいさむ越乃猟活前

つえ伐ひく事僅ニ十歩　杜国
はゝそのゝ高に霜のふ　芭蕉
こおりぬるゝ水のいふつま

歯朶乃葉を初狩人乃矢を負て　野水
小の庄門を求しあるのそる　芭蕉
馬糞掻あふぎに風の打うそ　荷兮
茶ハ湯者おしむ殿人の蒲公英　正平
らゝきげよ物よむ娘うづきて　芭蕉
燈篭市ハ月のさけくらぶる　杜国
つゆ萩のすゑふかと撰ぶ　芭蕉
芸薯麥さくまし滋賀樂の坊　野水
紅月夜双六ちの結麻一く　杜国
石花買みちよ庄ゝ出きく　荷兮
ちはぶ山のわざとて雛を飾る居　野水
春婦の夫よりまちんとこす　芭蕉

あぶれあぶぐは信の水まるでれ行　荷分
俳　答まる魚解き　ぎり　芭蕉
縣まる　乃　ぬ　市函
名形　堂　畠　仙反　とて
うまつ　ゆる　熟　おるる　市　岩　ちはぐと　甚蕉
おるる乃　神ぶ　こうや　飛函
おのぶ　秀　矢組の　指の　ぶ　ぶ　杜函
庄屋の　杏　とよみく　医りぬ　荷分
拾一子　栄　栄　長よのびつん　飛函
勝日　とさむく　刀　賣る　年　市函
市の　犯　岳の　国の　笠　ん　ぶ　荷分
穂　行　神　ととく　文政

あぶ人と　行　仲　指　よ　吞　ま　さん　重函
芥子のり　く　う　ま　ま　ぶ　ん　禅　杜函
三月の　朱　八　結く　結の　蕉　芭蕉
焼　御　う　ん　ら　よ　翠　う　ま　者　飛函
烹　京　可　と　ゆ　ま　ま　ぶ　と　敬　杜函
蓼　よ　き　念　俳　藪　と　毎　ぶ　る　荷分
う　け　う　す　き　行　仲　家　に　起　住　飛水
あ　ひ　う　ま　も　夜　家　井　帯　引　市函
ち　ぶ　れ　死　た　ま　り　ぬ　家　の　ぶ　ま　入　荷分
う　の　ち　の　日　城　ま　も　船　ぶ　く　文政

なふ　波　波　う　ま　ま　公　焼　山　函　ま　ま　ま　け　ぬ　ど

炭賣のものがつまりて
ひとの 拾花を讀 蘆 寒 荷兮
花蘇 馬背の雪の暮るる路の人 杜国
鶴こんぶ市のとりけ有うすうの梨 野水
のぶ[illegible]ぬ秋の日瓶よ酒をさし 芭蕉
萩織るのさ[illegible]市よ拾[illegible] 羽笠
ウ
賀茂義川や胡麻千代参り徽[illegible] 荷兮
ひさくらの[illegible]ちんぐ[illegible] 芭蕉
水[illegible]布搗[illegible] 杜国
う来ぶ[illegible]ち越る[illegible]平 野水
拾ら[illegible]くらわる[illegible]離[illegible] 羽笠
火をうぬ火燈おき人を見[illegible] 芭蕉

重五

門守の[illegible]紙[illegible]寝る 芭蕉
西刀[illegible]の時き[illegible] 荷兮
[illegible]ふりて[illegible]卿の[illegible] 杜国
[illegible]の[illegible]泊至[illegible] 野水
[illegible]の泊[illegible]の懲[illegible] 芭蕉
[illegible]ものいと[illegible]嬉[illegible] 羽笠
二
白燕[illegible]水[illegible]羽を[illegible] 荷兮
宣[illegible]かしこく鍬を[illegible] 芭蕉
ハナ年を[illegible]童冊[illegible] 野水
[illegible]七夕の[illegible] 杜国
西南よ[illegible]のつぼ[illegible] 羽笠
廿廉のあ[illegible]ちよ[illegible] 芭蕉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寅乃日[illegible]旦を[illegible]て

[illegible]

いぢきーて[illegible]人の[illegible]

[illegible]の根

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

荷兮

芭蕉

杜国

羽笠

荷兮

芭蕉

杜国

羽笠

荷兮

芭蕉

杜国

田家眺望

荷兮

[illegible]月や鶯の[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]山家の体を[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

芭蕉

杜国

羽笠

野水

芭蕉

荷兮

杜国

芭蕉

雑追ヲ烏帽子ハ其世ヲ三十

庭うゑ置る松ひの葉衣　秋夕　羽笠

あかつき山橋ちらす月んん　荷兮

麻うゝしゝ竹の葉あむ　芭蕉

ゐを迫く猶示蕃小ゝ世成拾く　文色

赤月出よ卯ハおあう　杜国

さびし衣筋ゝ花とす　羽笠

篭雲ゆゝ赤瓜の山あゐ　秋水

青柳ゝ世ゝ湘ゝ　芭蕉

元合の蓑とゝ　荷兮

坂のうゝ尾ゝ鯉を拾ひ　杜国

佛母ヲ迫む　文色

とれて三年ハ小角ゝ花あゝし　秋夕

蕚ゝ炭ヲ炭周つく白　羽笠

芹ゝあまれ小坊ゝ折れく　荷兮

おくゝゝのみ　芭蕉

ちゞうきヲ飯黄のゝく月の　文色

蕚ゝくきつゝ　杜国

汚拵ヲ底根ヲ　羽笠

豆腐つゝく毋の喪ヲ入　秋夕

ウ　文色の黄ハ殺も破ぬべし　芭蕉

伏見赤幡ハ鶏ヲ拾ふて　文色

いろゝき男猫ゝと拾ふて　杜国

春のちゝす　文色

水干と秀句の聖ひろやうよ　卅ぢ
山茶花白ふ至のこゞし　うゝゝ

遊加

ゆうま月ゝ雅雪しどうん義　羽益
梢火ゐあゞるうれそられ雲　梅公
そゝゝさ茅下高に髮どちやせして　市女
捨雪の文を月蕚　杜國
浪ゝ　捨かりん　月　ゝの海　芭蕉
ひゞり　ゝ梢を高うん岐阜山　壁水

ひさこ

江南乃花頃あるひさごを送レアるこゝハ是乃器と
かゝ酒をもーあゝ岩もあらば盛ら大樽ふ造りく
紅酒をワるかゝいつる姫久ゑ乃もえるゝ音ちゝ法乃
書ふかーく用ることゝ紙ーらばつくくるめるゝ日ゝ勝
あやまりてはうちふ隔る碎くゝふ日月陽秋きゝ
うゝーく言れあるゝの園ま郭公もけることゝ飛くるゝ
吾ゑ人ゝゝゝえゝきゝゝ旨風乃蓮思をいつゝ
ゝゝば是ハいづれのゝゝゝ乾坤乃ゑちゝゝ
出ぐゝのゝゝ紙云ゝゝ無ゝ付内ゝをゝゝ入

文禄三六月　　越智越人

花見

赤乃かゝに計も鯖も搗う那ゝ　翁

雪日のゝゝによき天氣乃利　沈頃

旅人乃風かき見乃蓑ゝく　曲水

ゝきも智ゝ乃ある乃鞘　翁

月待ゝ假の内書乃司　石頃

籾臼つゝる松がゝやつぐ　水

鞍置ゝ三寒ゝ弱ゝ秋乃ゝく　翁

名ゝゝさゝ　頃

入江不流行乃漏湯の夕ゝ蓑　水

中ゝゝ勢ゝ乃ゝゝるき山伏　翁

硯
あ
翁

硯
あ
翁

硯
あ
翁

硯
あ
翁

硯
あ
翁

硯
あ
翁

花咲ばかり芽ぶかぬ梢を欠廻　硯
野辺さくらうつる山中　曲水十二

翁　十二　路頭十二

いろ〳〵の名ばかりもよぎぶかぬ　埃硯
うぐひす　蝙蝠乃のどかなる　鶯の鳴　路通
かすみ　霞のとぶ　蝶　出て　仝
紫の藤乃実　硯
紅なる　躑躅　仝
秋乃色　通
こそ　仝

うゝ香乃相織と首ひき寄て　硯
小六　仝
鯨汐乃ちいさくうかぶ門の塔　通
念仏　仝
こゝらえし茅もう小ぶ年の暮　硯
花散し里乃夫よれどすれ　仝
若妻　通
花　仝
志ゐのさしぬ　硯
生網あぐる浦　仝
比村乃庵　硯
ちろ〳〵　仝

かくてぶぶは直ぶ退屈もさびること　兮
まさに泣出しに泣乃き泣きぬ　人
なが泣んやる新のうぶぎぶひろき　兮
蕎麦さいの中　山の麓胴中　人
うぶんうの里乃さびしの月ぶ　兮
きのうとの子乃うるか裸むし　人
泣びしやまの高しとこ高　兮
文蹴乃蕎麦しと蕎麦　人
あれか減又とハ出とみ　兮
何とも泣めるよ泣ぶる　人
きのぶ歌乃むらうして笑生ス　兮
蕎麦ふより　新をあんぬぶーて　全

行の蕎麦とうとうとして　人
きりきりよ雨きうちあるる　全
花ぶうう又百人の猪ちう　兮
蕎麦ぶて張ぶも杉ぶる　橋　全

歌題九　詠題八
詠ぶ十　箱一　歌人八

埃下

浸地乃遠ぶる屋房打ぶ　豊花
砂の小麦乃痩ぶぶ　豊楽
西風乃まて乃の小奥拾八　泥土
なまめる一口　餘　ひひひぶ　乙外

葛いさうひ二人ちぐらみ侍る　宗祇
秋の夜雷の雨　珠胤
ウ　女郎花小細雨　舎
月の中れしく人影がちなる　世経
なほも又川水ぬるく　里東
新乃れうしきさいきちり　法印
ちるを石神を　乙州
一野こびう山の下　宗祇
見知らぬ人　法印
おれ雲は洞雨　里東
雲の雨に系越の花女の音さび　世経
寺歩につかぐ千百の詩　乙州

有花を立ちてこそ　珠碩
葛を夜の雨の如き　宗祇
ウ　女郎花の細雨　里東
月の中れしく　法印
なほも又川水ぬる　世経
新乃れうしきさいきちり　乙州
ちるを石神を　宗祇
一野こびう山の下　法印
見知らぬ人　珠碩
おれ雲は洞雨　里東
雲の雨に系越の花女の音さび　世経
寺歩につかぐ千百の詩　乙州
古きをしたちの乃こと孫　宗祇
附しく八百姓ちでも烏帽子　法印
研ぶを見四方侍御乃　珠碩
多てを色八百姓虫乃法やらん　里東
連ち力もはや　世経
うら風乃大臣寺彌多吹遠　乙州
出乃こそに用叶へさき

撥剛き歯ふたちいきしかれども
ウ
夕辺乃月を葉賀嶺乃雲
ウ
貴経乃嘯ふ嘯き嘯き嘯き
四十あて老ぬうつそしき恋
繋ゑ乃ち江枕乃辺と寝ぬて
酔ひ細目ふ上あるて ゆうつ
枕材乃蔭ハ為ふ雨乃雲づき
田ふ上乃隅ふ苗乃ゆうはし

世経六　里乃六　流土十八
乙別六　祭詩六　祭詩
筆一　弧碩五

新

乃乃甲ふ上乃ふ ゆうはし 乙別
嘯半 米畢ふ紙乃ふく 音 流水
百姓乃古編仕ふ乃ふ乃きて 乃上乃
ゆうふ ゆうふ ゆうふの 縄 撰志
独寝ふ奥乃ふ乃ふ乃ふき藤の月 富高
婦詩 ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ 秋 正秀
ウ
紙蔵の山奇ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ 月肩
乃ふ乃加減乃ふづふ ふ ふ ふ 世経
乃ふ乃ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ 二雷
ふ乃ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ 乙別
初蔵半 雛乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 孫水

人乃ものに為でありうるを
此の歌乃香に次ぎてあひし笛の音
寝ものに起て聞ぬる常
弦入の中見わたす月
もんゆるやしきも
ちぢ上ゑ
蓋よ 盞をもの町屋の今年来
茅紙 義 乃ちぢ笑きき
うす雲る日ハどんみとも嘉樹
秋 ひ ひ ひ ひ 音の出るあれ
傳ものうき赤緒 袋の移ぎ多
撰ものちぢ ものの ものの
晴がりよ 諸の ちぢ

二

万葉
撰志
宮庭
云秀
及肩
野経
二嘯
三州
跡頃
里菜
探志
昌房

七

侍ると呼る 歌まつり 口
いきり ふる 一節 撰集
多吸かゆる 舟棚乃 秋 万葉
さ小と切 紙に風吹て 野経
なかの庭 月 二嘯
吟梅よ味乃 作くて 三州
蛙掃 うち八 上庭 る 跡頃
用をぬ ひ秀 里菜
こひよ かぶき 上 侍 探志
ものうよ 手 撫 腰 昌房
縄を集る 寺 上 茨 正秀
花の 乃 日 及肩
野経

さゝらを獅子の毛氣　二幅　豊京江
丁州　孫頼公　正秀公
撰吉公　昌房公
及房公　世信公　二幅公

四季哥

題歌

鶯は遠や苗代時乃角ゝ所乃
哥ゝ水ゝ霞ゝ世ゝ乃新　孫頼公
第ゝしゝめわやゝに時代ゝ哥の定　公
かゝゝ志ゝ行ゝ　きゝ門ゝ北ゝ文ゝ字　変
春ゝ雨ゝ利休乃家を葉ゝ氣　公
度ゝ芋ゝを　ゝ　ゝ　砂

出ゝ世ゝ是ゝ乃ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　秀頼
片ゝ足ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　秀
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　秀
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　秀
次ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　秀
狐ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　秀
月ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　変
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　頼
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　秀
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　形
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　変
あゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　公

三

重衡卿 里ハ廣嘆うき数一

ゆと聞くく 落る 聲門の視交 秀 碩

なを世ハ なほ 嘆 の ら 紙 碩

罪障の 枝 ちぐり 結ひ 秀

業を 痛 人の 姿 と 結 ゆ 碩

尊 事 さ む すい き 疲 ら り 秀

黄 塵 の 家 を 嵐 の 脚 を 接 を き 碩

日上 果 あ い ま の 御 笠 秀

名 ゆ を ぐ を 小 刹 ふ ら 華 碩

敵 入 初 ら 脚 塵 ま 秀

集 り 流 を 結 ぐ 月 ら 紙 ま 紙

す 布 ま ひ ら 脚 を や ら 秀

沢山ま 瓦 紙 と 吹 ら れ く 碩

呼 あ り ま ぐ 猫 ハ 吹 ぐ び 秀

子 紙 ゆ ふ 人 町 の 西 あ ぐ り 紙

や 回 カ ら 朝 赤 の 芽 萌 立 秀

散 ま 主 を 結 紙 ぐ る 者 あ て 紙

所 世 の ま る 紙 に ら ゆ ら ぎ ら 秀

宗盛 主 孫 ナ セ

猿蓑

晋其角序

湖海の集つくるかの古今にわたりて氏族あるて記述
き時をあれば幻術の貴一とし〻の句に還の入るかくの如
ゆるるに似たる奥久しく世をとまりをそうし人に
うつらく不変の変をもとし此みを徳いつるに及を思んと
らるれつよ自しかるに彼西行上人の骨をて人を
行らく〻詳いら雅しる笛と歌をかんに行るとかれ
る人ゆ所く行れるるの努のるれさほら反還乃
法はをうるよ行ふをされたるおれ入ををアイ
ウエヲよくひきいるれるん吟詠も出ぬへし是
湖海る還の入るる春をして我翁行脚のう物

伊賀越しる山中るく猿る小蓑とをるく湖海の神
を入るをひるるたちる断腸のるひ母ひる春あに
懼るへる幻術るうこ小とえとして此集をつくりて猿
るるふ名はャ行れるる是ら序もるんとるる還を合
をくをる れ此乃ほるるるるるるるるる書

冬

、初しぐるる小猿と小蓑とをしけ也　芭蕉
、あるじすけやを明る面るる家の詩句　其角
、時雨きや家ひるる動ふ水　千那
、集人るしるれるけぬく勢田は稲　丈艸
、湖海の猿橋ふるるしるる　猿雨　正秀

廣瀬や[illegible]の時雨を活ける　史邦

永人とめうまうく[illegible]時雨かな　尚白

伊賀の境より

なつかしや京[illegible]の清の一時雨　曹良

時雨や思ふまつ山の窓あり　元北

るうりて行田の里や秋しかな　大津乙州

鳥まさし[illegible]里見や夜しかな　羽紅

稲田より稗殼焼るしかな　路示昌房

いそしや沖の時雨の志帆片帆　元禄

[illegible]の[illegible]の[illegible]の前　[illegible]

一いろも動くまの秋哉　冊水

陸[illegible]

[illegible]の中　其角

稗[illegible]の[illegible]の[illegible]　同

百[illegible]の[illegible]の[illegible]神[illegible]月　元北

こがしや新[illegible]病[illegible]人の[illegible]　芭蕉

砂[illegible]や[illegible]より[illegible]の[illegible]　元北

[illegible]

稗[illegible]の[illegible]

陰[illegible]

ちやの[illegible]通[illegible]十夜代　伊賀上野　路示　越人

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　伊賀　猿雖

古寺の[illegible]の[illegible]　元北

箱の時用ゆ宝をすく
新あの引こころ多くハみこ多
この宝さ社冊のそれの高 裸 伊賀 亘角 車寿

草津

時もさ折うもいのこ武 尚白
神 逆水口ゆ多 孫碩 鈴

雲月郎自

猫まり折よあ分し 赤 柏 伊賀 良品
ゆ色身の水れ 稚ゆ 多仙 花 羽州 協田 不丘
ゆハ意代多の出り きゆ みの蜂 尾張 且藁
左衣のこゆ多 海 嵐代 多寿
一枚くきむき 治 千葉 伊賀 撰八

ゆ三

ゆゆ井の宝さ代 尚白
茶 ゆくつ きゆ 秋ゆ代 江戸 蓼菊
炭 軍ゆ 猫の 侍 出り利 元北
住つあ 祇の ゆ 火燈 芭蕉
寝こゆ 蒲 国の 内 甚角
門 前の小家もあ 明みゆ武 尾北
赤 発やおあ 切 宝 前 年代 茅舎
ゆ ハ 聴 ゆ 代れ 伊賀 李錢

貧交

ゆくく紙子の切を譲り 文鳥
浦風や巴代ゆ 衛 蕉代
あく 後やゆ 馴 友 衛 玄寿

猿の路踏清きや濱千鳥　史邦
皆門口の入江のほるる子ども　文州
いりあいの音ふまぶきく時雨哉　千那
矢田の野や浦のかりほの唱歌　元北
筏士のうたふる波や紫の雲　未節
水底とうて鳴る鹿小野の秋　文州
ちるも霞のうかるる春の海　路通
孤舟に揺るる春の月　旦藁
懸巣鳴く青山の奥の入れ　杉風
こりる戸や濱ひさぎ小くみ月　其角
かくちりの庵田ちりや秋の蔵　芝清　菅原
うんやらさらく猿人さむ――不行山　大津元智

翁の御のみつき舎をあとらう望ちり器
首出しくそつ高うんそや山舎　英猿　江戸
題行戸うそ舎
雲のて我うまのあるて紙舎　雲京
魚のうけ捨のやうセちなる氷外　撰也
ちりうきを移ほるとる綱代ち　文州
清白砂よ候ます
膝つきよかしこまり居る霞の雨　史邦
援猫の笑ふよ嬢よ和ふあるし　雅章
鼓の捨ちりこ月ほすあるし月　伊賀　木蜂
呼うそて鮒貴うんえあ霞の雨　元北
うそれ涼ら音や軽飯の出ぬる遠　摂津　画好

[illegible]　甚角
[illegible]　史邦
[illegible]　羽紅
[illegible]　探丸
[illegible]　凡兆
[illegible]　同

信濃路をとるとしら
[illegible]　芭蕉

草庵の[illegible]
[illegible]　尾張　甚角
[illegible]　羽笠
[illegible]　[illegible]

[illegible]　玄末
[illegible]　尚白
[illegible]　芭蕉
[illegible]　乙州
[illegible]　文州

住吉奉納
[illegible]　甚角
[illegible]　伊賀　[illegible]
[illegible]　同　秋甫

[illegible]　芭蕉

弱法師赤門ゆるせ餅の礼　其角
茶の夜や若狭を過て寺ばかり　毛和
うす聖の一言ハ何々やし　吉朱
なまぐさ坊のまうけ仏御堂の
大とうやまのをれくこころ　和紅
やうくくみやさ五十ろ茶の者　其角
いかくとくくよいさ五十の差音　路通
年のくれ酔ぬ人の案ぐら　秋風

夏

有明の面おこすやほとゝぎす　其角
立うすし茶ぐらの水や時ぐる　朱葉

世と捨て引こもりけよほとゝぎす　芭蕉
時ぐるまかきりとく後もかし　尚白
月くきしん行もなき世くゝ門梅　孔北
ひとさとさあこいとさん時ぐる　智月
蜀魂なくや本のちれ角　橋史邦
入相のひきれ中やほとゝぎす　羽紅
ほとゝぎす遊女のちる北　丈艸
ふるの宮代ぶ屋やほとゝぎす　玄朱
こひ死ぬ武蔵こしかけ　遊女奥部
松浦一見の月よりうるや　
ようくれし
唐崎や藤ぶまてくれほとゝぎす　素丸

うき赤とさらしなよりんこ　芭蕉

旅館夜寒　　曲水

芋頭蒸いろ成し一ちうり

四月八日諸慈母墓　　長角

花水うりうつしうつしてら歳うり　　全峯

ぶらりしぬ花時牡丹の盛りを

別僧

ちるまくしれんや牛蒡の葉　　越人

智恵のあるのあるのあるの

おけのるや新き時乃絵のすゝし　芭蕉
猛さ次のへさうしてゝ　正秀

明石夜泊

蛸壺やはかなき夢を夏の月　芭蕉
君ヶ代や筆の海も端一つ　越人

五月二日ゆかりある家ゝ

夏の草ゝ草ゝ中にけり菖蒲哉　其角
粽結ふかりにまぎれ額髪　芭蕉
隠隠乃蓑笠うち解粽　岩翁
さゝしてた客人やまつ北　尚白

五月六日大坂ゝ乞乃遠忌を弔ふて

大坂やゝゝあよの裏のゐ十年　伊賀　蟬吟

奥羽ゝ館ゝて

夏草や兵ゝ乃ゆめ乃跡　芭蕉

這出しかひ乃下ゝ蝉乃声　同

ひ境ゝひゝゝ角ゝけよ広瀬石　同

五月雨ゝ家ゝ捨ゝ乃ゝ　乞兆
ひ新麦乃味ゝ乃ゝ　寸芝
ゝ土乃謂次ゝ　史邦

奥州名元乃郡ゝ名ゝ中尊寺の塚ハ
いくゝゝや〳〵夜ゝ乃ゝ一里半
ゝゝたゝの方ゝ乃ゝ
ゝゆゝゝゝき五月雨ゝ

かくおもふこゝ
笠着やいつこ五月よりの道　芭蕉

大和路伊賀のさらしなてふ坂を行
の順礼をゝいてなかすめられ八科是
つゝゝる紙のうらに書つけ侍る

うらもなくふし坂や五月雨　玄蕃
蟹刈や一夜ゝ今積て五月雨　九兆
日のあや葵傾くさ月の空　芭蕉
絶間や岩もとくちこれ五月雨　羽紅

七十余の老翁みまうるゝ事ありて
こゝろうてなくまて手にいさみの白髪
その老翁いまゝ一世のさまを金

人よあくまれ人ゝ春の世なれ
古郷もあれかる年ゝをいとゝなく
ゆくふるあるく

六尺もカ落しや五月あめ　其角
百姓も麦よそつく茶摘哉　玄蕃
ちゝまや茶山しゝ丸梅つれ　四秀
つゝみ合るまれいけや麦畠　滋力

孫を重しく

麦畑の家しゝやらん雨蛙　智月
麦出来あく鱒迄吟ふ山家哉　江戸花紅
千川の関こゝさ
乳房のうゝやゝ風穴哉　芭蕉

出羽の山形上洲にて

屠蘇を酌みて紅粉の花　今

法隆寺焼失の時の子を抱き

御陵のうつりしかつらの花　千邦

田の畝刀を立てし山桜　宇万邦

提灯曲水之樽かな　[illegible]

蛍出や吹くとかぶる小雨　[illegible]

碧田蛍うたん二句

やみの夜や生れ出て蛍　[illegible]

ほうたるや新しき弁ずつる　芭蕉

三熊野へ詣る時

蛍出やこゝ[illegible]き八畳尾谷　武蔵 田上尼

あるうらの粉ひらひらあるかなし　尚白

草刈りや石合中くくれの兵　半残

病後

ゆうつるやつゝ[illegible]ふつく石合の花　大阪 [illegible]

すゝ風や新しき生る石合の花　[illegible]

焼物師を作りて

子やちうん其子の母も粉の咎ン　嵐葉

銭別

立さはやゆ[illegible]もうつゝあ[illegible]の君　[illegible] 里東

うつゝ[illegible]人[illegible]

[illegible]

みゝの夜[illegible]

[illegible]　[illegible]角

[illegible]や　蚤の出て[illegible]年の宮　大竹

下[illegible]や　[illegible]の[illegible]の[illegible]　嵐雪

[illegible]や　居屋かゆゝ[illegible]の[illegible]　鼠雪　探志

[illegible]て[illegible]ぬ[illegible]きハ[illegible]ぬ[illegible]の[illegible]　芭蕉

[illegible]や　[illegible]州[illegible]　伊賀　擬市

[illegible]の[illegible]の[illegible]　元禄

[illegible]の[illegible]社[illegible]　千那

[illegible]雨や　清[illegible]　支考

[illegible]　蓮[illegible]

[illegible]雨や　蓮一枚乃　[illegible]　嵐雪

[illegible]雨や　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]乃[illegible]　蠟[illegible]　元禄

[illegible]　同

[illegible]　正秀

[illegible]　[illegible]節

[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]紅

[illegible]ハ[illegible]　[illegible]山

千[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]　芭蕉

[illegible]人乃[illegible]　嵐雪

[illegible]月や　[illegible]　宗次

[illegible]ハ[illegible]　元禄

[illegible]　[illegible]

[illegible]

月鉾や四人乃[illegible]千那

夕[illegible]や岷[illegible]乃峰　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 歩行れ　嵐葉
[illegible] 歩行れ　杉風
[illegible] 千那
[illegible] 史邦
[illegible] 旦藁
[illegible] 孔甲
[illegible] 羽紅

八月朔日の夜　[illegible]
けう[illegible]

[illegible] 失ひ[illegible]れ　凡兆
つ[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
元禄二年菊の[illegible]　去来
[illegible]　[illegible]
[illegible]
[illegible]

俳士の歌ハ小海老とまりけり小海　仝

かなえ乃小松ゝゝ　宮地

宮地とゝ乃宮殿の菊うゑ乃

ゝゝ月ゝ　芭蕉

はゝまの乃あら情よ地あゝく

むさんやな甲乃下きりゝん　尚白

菊畑や二ゝ乃中乃ゝ乃ゝ　風麦

ゝゝ乃ゝ　聖ふ乃ゝく昭夜月

いせふまゝてゝ乃

葉月ゝ　千子

葉月ゝ乃ゝ乃海ゝ人ゝ乃ん　之乙

ゝ乃月ゝ乃蓑乃あゝ月とかゝゝ

雲乃ゝ月ゝ月ゝ乃ゝ月ゝ　卓我

月乃ゝん俳乃ゝ乃ゝ乃ゝ　玄来

翁ゝ茅舎ゝ宮ゝ

ゝゝ乃ゝ月ゝ　伊賀　古芳

加茂ゝ詣　ゝゝ乃ゝ乃ゝ

ゝゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ

月影や　拍子ゝ膝　打ゝ上　史邦

百姓乃ゝ乃ゝ

影ゝ月　乃ゝ乃ゝ乃ゝ　伊賀　孝紙

ゝゝ越ゝ乃ゝ月影　乃ゝ

京ゝ乃ゝ京ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ　文竹

時風乃ゝ乃ゝ乃ゝ中ゝ　元北

ゝゝ乃ゝ乃ゝ　尚白

向の絵き名も月ふる雪うれ　若元

文祖二年つる弁慶る月とんて

義氏の頃神を語れり上人の高てきて

月清し　仲秋の夜の月　乃上　宮蕉

うら山の月有も人ふるうり世を送

明月や雲ハ雪れ葉乃赤ふ　後和ちなる　昌房

月ふるく人の流ふいてふ　羽紅

後ふ世いもの少ふ世あふ世　尚白

初潮や　雪門乃流れ花柳舟　九兆

一戸や　雲ハ雪ふ山ふ　三千

猩の穂乃ふ　ふ　戎人

供糟や　かふも　雪乃ふ　蕎麦　西秀

あやとりて　きうはの　鱈ふ　宗葉

一夕不雪山文圃

物乃ふ　ふ　ふ　ふ　葉山ふ　ふ　九兆

ひつふき　拓ふ　ふ　ふ　里仲樂　春元

越前庫乃つき合軒　後　下　千里

巻ふ　ふ　供柿市ふ蕎麦　陽碩

上ふ　ふ　下ふ　ふ　ふ　ふ　乃天　九兆

鱈　汚ふ　ふ　鱈　つふ　幸政

ふ　ふ　向ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　尚白

業を切ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　長角

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　陽顔

[illegible] 元北

[illegible] 土芳

[illegible] 元北

自題落柿舎

柿の[illegible]や柿[illegible]ちらぬ[illegible]あり山[illegible]

[illegible]ぬ[illegible]ゆ[illegible]ぬく[illegible]の下[illegible]

[illegible]行切山[illegible]

[illegible] 元北

神田祭

[illegible]ひれの掛[illegible]

神田祭乃[illegible]

[illegible] 牧是

掛[illegible]

[illegible]

[illegible]とまり[illegible] 嵐雪

[illegible]秋乃[illegible] 史邨

[illegible]や[illegible]

世の中[illegible]

[illegible]

元北

仝

[illegible]

春

柿[illegible]

[illegible]の柿もあり 露沾

上蔵乃山[illegible]

柿[illegible]や山[illegible]

[illegible]

玄朱

句空

庭奥

柿の香や秋利[illegible]

[illegible]

柿の香や法のうらひ[illegible]

玄黃

半残

[illegible] 蟬[illegible]

むさべのかやの一篇を蕣のごとく　真角

ふられ餅の屋平　梅さいてく

清子られる社一ことく　梅は咲　笠意

廻藪や作りかたれの軒の梅　千那

屋拵てく白雪うち延ふれ　孔北

日當りは平敷咲ころや屋平房　提示　支雨

暗香浮動月黄昏

入相の梅は知らり延ひきうれ　風麦

武は三年むく福寿の残雪

寝ぐらまき宮の御目や園の梅　乙州

幸未のとし深雪のうちはつる

山ふかく梅のかちひ志さりかな

ふるく四方嵐雪うちかさの

匂ひて夢四方ふいの白とりはいはき

ゆのうちひのあひはなてるれ

て感動月はもとりう深山桜

ふるふ白いうの取れ夢と思ふ

まくて恨ふけきみと人いふる

風雅と言さうや

夢さふく又一白ひうれ雪毎　嵐雪

石八のうて迷ひや園れむや　其角

引ふ寝もし能宮ん初子日　ちよ

世魯や屋敷遊のけく摘菜茶　史邦

ふる市やこの酒毒れ茶屋部　嵐雪

[illegible]

憶翁之宴席

[illegible]

[illegible]

[illegible]

露沾公にて猫の穴かくし　ちよ
雪風にめきもとうねねねねね　竜雨
雪の雪あれちりぬるきさ二月代　尚白
出うりや花ゝ　東花
出うりや細こうか　嵐雪
貴はまれかゝ小かゝもあれ茅代　九北
白魚や海苔下ゆのうい会セ　草角
人の　　枝峯
雪雨よりくき出　　文蝶
陽出やえいきあるまよりし　ばくう
かけうはやたもるあるまあ　西東

土芳
氷園
九北
芭蕉
嵐雪
路通
雪水
九北
嵐雪

雪の雨
雪雨や面桜の少年元禄

[illegible]雨や山より出る月の　門　猿蓑　芭蕉

[illegible]しかき越さぬ水の音　史邦

[illegible]雨や田植の[illegible]　白江

[illegible]雨のあるやうにおもふ　史邦

[illegible]や苗代時の暗[illegible]　昌房

[illegible]高き木の行やうの[illegible]　玄牛

[illegible]拾遺や下[illegible]高き木の[illegible]　伊賀　蕉子

[illegible]年こゝろの[illegible]の[illegible]のこれ

桃折[illegible]　羽紅

[illegible]　三川　烏巣

里人の[illegible]　紫雅

[illegible]　半残

[illegible]　加州金沢　桃妖

いろのりこゝろ[illegible]　伊賀　園風

[illegible]　漆　源須

[illegible]こもくの[illegible]　土芳

[illegible]の[illegible]　芭蕉

園の[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]　元北

[illegible]　石口

[illegible]　松風

[illegible]　芭蕉

芭蕉葉乃ゆきとゝ乃
重箱少濡洗しあとやこれ　曲水
水瓜筋孤してゝゝく世ハあるゝ　白雄
畫讃　山店
山吹や白き乃焙炉乃白の時　芭蕉
白玉は露ゝきいつく藤うれ　車来
わゝしらゝくゝまひらゝるゝ
蛩つたもあむつゝしは
ゝまぢうへくく
鼻（ウカイ）も芽やちう　桜　羽紅
蝸牛おゝしのせてるつゝきうれ　清水山路　坂上氏
うゝひゝれ笠冊ゝゝ桜ゝ　芭蕉

そゝきゝゝ進ゝふさけハゝて　伊賀　利昌
東屋ゝよあゝ
少時ゝや生ゝ赤ゝ山ハ　喜角
一枝ゝ咲ゝ山ハ　為公
新の芽ゝきゝゝるゝまさ九ゝ　元北
ゝ世ゝ桜ゝ　文艸
世ゝ咲ゝ咲ゝ遅ゝ　史邦
生ゝ斉ゝ生ゝ花の　千那
葛葉のふゝとゝ
桜ゝゝ花ゝ神乃　芭蕉
いゝのゝ生ゝ花ゝ話ゝ
乃ハ生ゝ梅の料ゝ附ゝ生ゝ

そんぞうの
一里ゝゝ孔花ちれし子孫うや　同
亡父の墓京武蔵中にあるに二日寒
寺別邸百年の樹の枯よりあり
墓のあるを程遠き所なるよりあり
世の拙ゝ里つゝてうの樹てゝ絶
ゝゝ年幾の墓程樹咲ゝ小枝ゝ
ゝゝや花吸ふ蜂の待遠ゝ　圓風
知人年ありしゝ花見ゝ　去来
あるを傳の操ゝ一花の初ゝ　元北
隙人のゝゝ
冬ゝ春の夜あるゝ花鞠　半幾

腰ゝゝ孔家年のゆゝへ外　ナガ　星眠
ゝゝ孔奥ゝゝ春ゝゝ出ゝ
大山寺ゝゝ奥ゝ花の果　雪ゝ
ゝ藤山のゝ
ゝ藤や花ゝゝの代ゝ花ゝゝ　嵐雪
保氏の藤ゝ
桜干に夜ちる花ゝ　羽紅
庚午の歳家ゝ焼ゝ
焼ゝゝゝ花ゝゝ　加舟　小枝
ゝ孔ゝゝ孔花ゝ　元北
海棠ゝ孔ゝ海ゝゝ夜の月　ゝ孔　蕉杖
大和川御ゝ

草刈るとかるる比や花の雨　芭蕉
山ゆかぬ跡踏ふけ月の雲　野水
やまつゝじ一ぱいさかり夕の雨　杉風
名角しく却て花つゝむ小雨　山川
鶯の鳴きくゝ[illegible]そくより山路かな　武[illegible]

赤坂にて

ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

三里あまりのをくえんは　東
この夏も盧風が男居あるうて　邦
さしまつきくる月の錦夜　北
若ふかくとゝまれば蛙　蕉
ひるくるまでの雨ぞ　東
いらどき二日の月も咲て　北
まくげのさむき淋れ小かの　邦
少さうの江ぶかばかる業れる　東
阿くまぶんぶ仕事より　蕉
痩骨のまぶ起るかれき　邦
蕉をとりく車引こむ　北
うきくをを松殼はよりくらせん　蕉

いまや別の刀きー　出雲　素
ゆりげを掃くうきちらし　北
冊ひ切くる死ぐひんよ　邦
ま天子の所の新ぐけ　東
湖水の秋乃　はくの初雪　蕉
ウ
堂の戸や蓑ぬ長ぬ記　邦
めのこ兵ぬ風のうぐれ　北
押会くくぶ又立つう秋　蕉
くらの雪乃まぶ赤き　東
一撥鼓つくる宮乃　北
秋祀力　古意寺の事を　邦

市中八百の子ほかやうの月　元北

あつし　芭蕉

二番鶏　子朱

月うちてくらうめ　一　枝　北

世節に祝もアンまつ　芭蕉

打どのやし　素

ウ　草村手越こぶるまぐれ　北

蕨の芽　芭蕉

適心のおとうハ花のつぼ　北

解ゆくの七屋の月　素

魚乃骨去ぐ迄乃老とそ　芭蕉

行人の小　小行門乃　蕉

立ちり屋風を倒す女子　素

湯ゆ八行の蓋ふ俗　芭蕉

苗雪丸実を咲　東

俗やさ心くキかつる　北

さりの猿　蕉

年よ一家乃　北

名　五六年生年つ　北

見ぬ　北

追ふて　素

でちぐ　北

戸障子も白しらがこひの雪哉　蕉
てんぢくとまりいつるまづく　木
こそ〳〵と家越てつくる月ぬれば　北
塗りとめるひる起し　初秋　蕉
そのまゝにこうびゑがる林蔭　木
ゆゞ〳〵く蓋のたりぬ半櫃　北
草葺の軒に新く居てあやぐり　蕉
いのち蛙よ探集乃さゝ　木
さはぐ〳〵る品うりる乗て　北
浮世の果ハ皆小町　蕉
あるにれは　衛する水も減ぐし　木
侍るもしくたれむ蔦き板哉　北

月の〻ひ〻に風這ハする花のうゑ　蕉
かゝ〻〻うごうめ笠の祝むさゝ　木

元北十二　芭蕉十二　去来十二

屋汁頻乃手やしりくきりぐ〻　元北
あ妙ふかひ〻てゆ屋さ秋　芭蕉
新月まゝまるゆ〻しる月ゆ〻　野水
ゆ〻べて蛙〻　十乃さゝぎ　去来
手代種ぐき物て稼ぐ子四て　蕉
栄る乃吉にたぐ〻こを波ハ　北
うゆ〻ゆ〻〻脇を降ハ星乃　芋
麻ま郭ぐ〻ゆ〻ゆ〻の〻ゆ〻　芋

ゆうにうまそうな菅ぶ風薫
蛭乃口ぶえ（クチブエ）をかきてゝ氣味よき
ゑみ姿ひりょうは高ゆかしく使ひよ
遠やくゝ　き屋ようの姿
今宵とくゝよりぐゝ効のやうき
あつれ見ずきれてゝの月
町内乃秋もよりの明やすき
何とゝるゝ　ゝも高ようし
花ともちる　ゝは西念が衣ぬく
本ゝ見れ弧茅ゝ考ゝ
名ゝへるゝ山法付ゝ
世ゝ見れ家の四ゝとゝげる

北　蓋　ゝ　本　北　本　ゝ　蓋　北　水　本

（ゝゝ）あ小ゝ風
弦の秋を見に月一をく
ゝさ時ぶき女の名ゝて
何おもひゝよ指乃ゝ
夕月ゝ世の蛍ゝの山家ゝ
人もわゝれ　あゝけゝの
うゝつきゝ月ゝ　ぶん
又もちゝの飾ゝ
時ゝ田ゝ　ゝ
かゝ家のゝゝ　ゝ
ゝ（ウ）ゝの家ゝ
雨のゝゝ　ゝ

北　蓋　本　北　本　蓋　本　北

[illegible]　蕉
[illegible]　北
[illegible]　素
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

元禄九
[illegible]九　芭蕉翁　[illegible]水翁

[illegible]武行

[illegible]　芭蕉

[illegible]　[illegible]
かきあつめ　[illegible]の　曙　[illegible]洲
[illegible]　小田[illegible]　[illegible]　[illegible]碩
[illegible]　[illegible]　素男

[illegible]

片隅ヲ雪崖叩えて暑の月　品
二階の客ハ[illegible]あき　蕉
[illegible]やうの[illegible]ハ[illegible]えもちび　男
稲の[illegible]の力[illegible]あき　碩
石つーんの初[illegible]　蕉
内[illegible]　品
和の[illegible]　碩
[illegible]の[illegible]　男
[illegible]の[illegible]　品
[illegible]ハ[illegible]　智月
[illegible]ハ[illegible]　元北
[illegible]　品

[illegible]の柄を立てすぐりたる[illegible]の[illegible]
[illegible]かぶりたるの[illegible]
名 [illegible]て[illegible]体理軌　四要
[illegible]仕[illegible]のまかり　来
[illegible]ふ仕のまかり　来
[illegible]の[illegible]の紺の[illegible]　来殘
行ぬぐひ掛の[illegible]　土芳
[illegible]きい新の　下　殘
大[illegible]を[illegible]　芳
[illegible]ハ[illegible]小[illegible]　殘
小刀の蛟及[illegible]　細工　[illegible]こと　園風
棚よ[illegible]大年の[illegible]　猿蓑
[illegible]ハ[illegible]仕[illegible]の[illegible]　殘
四[illegible]今[illegible]

[illegible]

[illegible]ハ[illegible]
[illegible]他[illegible]
[illegible]の[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

幻住庵記　芭蕉翁

石山の奥に石ゐ[illegible]と山を圓く山と云ふ[illegible]
[illegible]の名を付[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

りをあるひとをしてかたりてかたりてかたりて深て
幻住庵の主客なる送て序をかく草庵の江左と今は
すつく山岳よりいとい孤峰とこそ呼名なるべしいと
高き事五十丈越乃若草山越乃若草山越乃若草山
金ぶち雲ハ縁くとなくとなくと動しあるハ
高き乃笠置里乃杉のこれ乃ゆとていのこての稲乃ひ
あり一鬼の豆畑まとまとまとま

訌乃識其賢且知山川得其人而益美
矣可謂人与山川共相得焉與作詩章
一篇歌之曰　古松其間兮緑陰清
琵湖南方四分嶺　内方使人獨養生
茅屋竹籬繞數間　風景依稀入詩情
滿口錦繡輝山川　今日因君尚益栄
此地自古富勝賞　霞軒奥州
文祿庚午仲秋日

凡右口記

世事背中又てやる藤棄うれ　曲水
ちりさ秋乃記ちしたつの山　世水

[illegible]
海山七面ちりて一ちる　元北
新ちりき山石梨毋ゆれ接西　千彩
細腰乃ちりやうれ山　改復

[illegible]帳

[illegible]紙帳より迷ひ出　世俗
ゆくさきの[illegible]　里東
蛍[illegible]　乙品
新也薄乃中れ[illegible]　[illegible]書簡
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

[illegible]　史邦

月夜や海は銀屏ひろげ　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

黒い雲夕月に対乃ちかつる小
時々いと〳〵はるゝ間こうのさまうた　何処
越人ゝ〳〵く行会〳〵　越人

蓮の実の仙ゝ乱入蓮　うれ　哉

明身法性四蓮
実ゝ無心あり　果ゝ　花言
同夏
涼しさや何蓮とさへ行蓮　芭蕉

題

猿蓑　書名蓑ゝ笠ゝ雨濡ゝ世捨ゝ世捨ゝ山寺
倫衣朝市頂冠笑呂任心感物写真而已矣

洛下逸人凡北去南隔雲霧遊学棲飯竹窓躍
等凌節斯有某翁撰西集反手無已自謂絶
超孤服白裘者也於是四方嗟友情〳〵往来或
千里寄書〳〵中皆曾住句日編月隆各程文章
往有昆仲騁士不某録者雲居窟栖為難通信
且有雅俗帰人不孫南墨者兼言細語為喜同志
新亭雲其域何棄其人乎或果分四序作二巻
故不遠慶捜他家文林世維既之禄四稔亭〳〵未
仲夏余掛瓢於洛陽孫亭偶今北来吟席見人
霊印四夏影怪昏庭卒援毫不揣拙庶幾一蓑高
張有補于詞海漁人云

續裝

廿 之十五

正竹書之

八九月ごろ雨降る柳　久雄

蓑のうすし乃畠刈る翁　沾圃

初霜のとる馬ぞ見えつ　馬莧

思ひなきつく晩乃時雨哉　里圃

きのふ今日和らぎまさる月乃色　沾

狗蓼ふく脚をうち振る蓼　蕉

戸漏雨もこと〻ふる風に吹れしら　里

孫が訪ふる新文乃　俳諧　莧

脇指に磨てかしげる接乃　蕉

煤を去まへぞ餅の時　沾

芭蕉

約束乃小雪一さげ壺ふきて　莧

十里ぞう里は余所へ出うを　里

無の茅に少鶏埋く抱ありうま　沾

ぬぐ〻分後を門の書つけ　蕉

やり水ぞ出る粥給を　里

ぬ明よおらを茅乃京に道づれ　莧

ぬるのよりうを小柳乃そくに　蕉

二

まを雪おをまが芝落れ乃他右ま　沾

伊勢の下向よ爲ものうと遠　莧

長旅よ小拳乃仲ゐるてかしく　里

くりうを雪乃晴るまを雪　沾

蕉

禪寺は一日あそぶ物乃上　里
椽の角乃そてぬ要ら宮　蕉
濱出しの牛に傳紙そこぶ　沾
ゆめ乃抵ふハうく其間　蕉
友待ち侍ゆそ所ちそうん
鼓乃業乃名ゆ無さ間　里
可ふ小そ素て鶯も板もむく社等　沾
徒宿ちしる　竹紙　蕉
鄙やうに老日坂乃冬の風　里
ゆ姿に星は　こゞれて　蕉
引ふく世宮る舞ゆる老をやき　蕉
ちゝと火入ゆ　薫　沾

須ハちや狩ふぬ素の毛ぐ　蕉
陸がしらの紙ふるかぶろよの形　里

雀の字や掃ゆ洞るの智　馬蕉
ろ業の岸の初ろき角　沾圃
主家と買ふくそんれぞ秋ゆて　里圃
姫川しある城のぞく目沾　蕉
三和家ふる蕪ふるぶも空人　沾
選をおりふ紙乃洗　長
悔しさちふの一歩の足ふ　里
清水ちんでちふ伝ぶりちて　蕉
沾

よくすぎしる茶おの天氣きづかい　里
みてのりきるまるおもこの乃客　莫
何事もなくてめでたき駒迎　沾
風よりもしかるよ稲の穂の葉　里
素所秋の住居よ住うへく　莫
座敷乃むきこし女房呼乃り　沾
明るる伊勢の幸波の幸落り　里
蕎麦ききまくしたるぬ一徳　莫
懐来もきりうく　二　沾
素静なる年乃　深　纏　里
雪乃とおハ言紙掃殘し　莫
きるぬ合点ぐ好みく居る　沾

逢くに至うしのきと中無く　里
之清敷蟹のこの蔭のきなや　莫
汁の実よこまる茄子乃生蟹　沾
あるむ麦をきりり刈くと法　里
口くに寺の指景と書無　莫
屋のお立乃あとを淋しき　沾
淺りきまぐ立つあ小商　里
早下しく屋よい料理ふ　莫
肌入く秋よりうの皮　沾
　　ウ
新よこぐく出笹　乃　素　里
時雨きを実の血のあと同く　莫
立什きくり乃　素　沾

重のちれる帳子附乃あぶひ和　里
ゆうゝ氣味よき松茸乃風　蒐
笑れうゞ業とゝ立籠子の舞ゝ　沾
ゆゝ田乃主のかゝくゞ　里

いさゝ立雪川すゆる嵐の車　里圓
みゝれまされ乃ゝ和ちぐゞ花　沾圓
大根れゝぶゝあ去よりゝ小て　芭蕉
上下ゝもよ紅ゝ茶の花　馬莧
町切よ月夫の湖乃集め鍋　沾
茶かちゝゝと通るる次　里

ゾ四

智恵（ウ）ノ恵の智りの呼掛りゝ　莧
所ゝゝ乃後ゝ楓わゝやぐ　沾
俎乃鯨よゝとうけながし　里
月利ぐ家ゝよ小茶しゝり　莧
狀茶を後所の花飾清ゝて　沾
ちぶゝちりまゝなゝぬ四の新　里
業れ業よゝぶゝの子の沙ちぎり　莧
伊弱氣づゝ小綿ゝりの面　沾
うき後ゝ驚ゝ小ゝ海ゝ　里
あ嵯ゝ小明ゝ　莧
集年乃花の中ゝ　沾
柳の侍ゝ門を出て　里

百姓よりて世をすぎよ　芭蕉
ごまめと猫あらぬ片菜　沾圃
麦畑乃濕減でこあるー　重里
ふの乃あめさらさらとなる　芭蕉
柳と這ふ蘇の中の絡線の智　沾圃
別を人がいふ出さば　注　里
火燵の火いけく勝まとちぶまさ　芭蕉
一石拾ふ　碓　乃　米　沾圃
朝く　は寒月の起る天気お　子
御ゴウ　よ加減のちぐふ　秋　芭蕉
夜寒ことしらぐこと吸てる　沾圃
ふのひ乃まちたる編ぐ金板さ　子

手拭よ娘とやけく姫のさま　芭蕉
ふとこのふとこちで仕立る　沾圃
花乃あく鄙　蹴　乃ふぐ　ろい　里
寺乃ひけ　る山源乃　まち　芭蕉
みちふふ　ふくなる　池の時　沾圃
一雨降りて　あふ　風　里

猿蓑にあれる　おの乃　松高北　沾圃
日ち　ふられど　静　ある　岡　芭蕉
水ふ　池の中　より　ありて　支考
藻行　ふ藻　ぐく　惟然

鶏があげるとやぐらに落ちる　蕉
面白のなるまに人世よりも秋　考
ウ
今世まつまひ一つ行ぐ亜ぎる鮪の魚　然
屋の時の癖とはなるもの　蕉
翁が弟くまもちばよ抽酒　考
中垂よりの状の右右　紙
都日乃日を　蕉
一言　紙織ゥ失く　考
きさんじ　蕉
山に門ある　紙
秋あぐ一畠乃人乃みより　考
多源　蕉
る　紙乃小鯖　紙

見ゝく通る紀之井ゝ花の咲ゝり　蕉
ニ
ゝ尚抜ひゝゝ　考
ゝゝ風乃又ゝ　紙
わゝまゝ脈とゝ　蕉
法呼の円紙ゝ　考
堂器のゝゝ　紙
大ゝゝゝ日ゝ二日　蕉
者ゝきけし中乃ゝ　考
ゝる法乃ゝ掛ゝ　紙
奥乃世並ゝ近ゝ　蕉
汚ゝ者乃ゝ　考
赤鶏沢紙　蕉乃面　紙

宮ちかくの旅所乃前に立て
森汗乃ゝ多るゝ鈴ゞさの音
うゝ蓬を伐ゝ
大工づゝ乃角に鑿を当ゆる
米搗もりあゝて
ゝゝまで市乃中を押あふ
はあゝり涼生ゝ
野乃蛍乃ちゞめけあ

蕉
考
然
蕉
考
蕉
然
考

野盤子
支考

今宵賦

今宵ゝ六月十六日のゝゝ
私山よりゝげゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

考で工夫はなるべし　照隆　考
あれがうの意よりまるまる樹乃葉　蕉
持佛のうへよりタ日さし　巳　翠
平畦よ葉と尊立　たぐこ　考
秋風ゝ　門乃居風呂　然
馬引ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　蕉
屋根でつぎしもとの名ちる　翠
餅如乃　ゝ　乃　ゝ　ゝ　翠
心方　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ニ
夏風ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　然
藪うゝ　ゝ　ゝ　ゝ　考
咲ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　蕉

ゾ九

何ぞの時ゝ　山伏よ　な　翠
笹ぶと　ゝ　ゝ　ゝ　る
藪　こゝ　ゝ　ゝ　ゝ　蕉
お宮し　ゝ　ゝ　ゝ　考
除乃日和よ　雪乃氣　然
春ごゝろ　ゝ　ゝ　ゝ　翠
笠がえの　ゝ　ゝ　ゝ　る
対付　文　ゝ　ゝ　蕉
ウ
ゝゝ　ゝ　ゝ　ゝ　考
雲霧つる四条乃角乃河原町　然
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　翠
今乃ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　る

大きなる蓮葉ぞ　秋夫
盥あるかも蔵刺　よせく
腰うけつ通し　前棚乃下　弓

春之部　花類

盥石乃あるうち赤すやうの類　嘉沾
憂好きよ又うち庭のうの類　其角
数よ似ぬ不い句も知よ初さら　芭蕉
ちゃ道や赤乃服ら花の山　洞木
角いれし人とかしいや花の友　丈艸
花散く竹ふる新のやすさ　洒堂

富貴なる酒屋よあらひて文君ら
瓜ちも醉乃赤きれよいいうれ　惟然
酒紅屋よ琴乃ちをきく家乃花　支考
賭ふして降出されうさ特　沾徳
人乃氣もかく霞しうの類　猿雖
ちるロや世中乃花乃小面　陽和
七月うり花見ふおこ女中に　三州
ふる所ありぬ不やうのさ乃　木兵
咲花とむいしうるる花赤に　沾荷
糸花やあふ色ふうの類　一子珊
二の猿やさんら咲ひ鯛の鼻　卓袋
養虫は出方ふ赤ちく類に

田家

藷藷乃名物ぞうんや飯米み十石　李里

咲かるるはや桃の花　桃首

山門と花とのこの　一桐

なうれ木乃根やあるるる花の蔭　加雪

花笠ときいせるく似合ぬ人を詠　其一角

ゑれやられて重ね赤ふとん花の蔭　小年一路

ぬり重ね聖乃ちらうや朝の花　卓袋

一日を花乃あてやと形寺　沾圓

八重桜京よりも稀るちらるる菜代　仝

若菜

霞掛や若菜こゆるる土佐ぶし　嵐雪

角乃峠や乙姫乃若菜ゆ　曲翠

夕波乃新乃きこゆるる代　孤屋

一加幽乃牡丹を宝ぶき若菜代　屋敷

梅　附柳

春もやゝ三寸ばかりの角ぶる梅　芭蕉

赤さゝ丈たゝ梅の花　世石

守梅乃あるひ葉ぶる世老賣　其角

里坊ゑ雑きくや学紀の花　昌房

投入や梅のおくるて藤の枝　良品

病後の梅ぶるれ梅のさかりぶる　菊元

あゝ一紀世家の簾ぶ重ぶ梅乃　万平

春雨や梅の原まゝ下法の花　魚日

[illegible]　千川
[illegible]　大冊

天神のやしろや柳乃藪き小　遊糸
[illegible]　千枝
[illegible]　意元
[illegible]　[illegible]由
[illegible]　九郎
[illegible]　巳八

[illegible]

[illegible]　甚角
[illegible]　史邦

[illegible]　芭蕉
[illegible]　玄東
[illegible]　洒堂
[illegible]　傘下
[illegible]　李虹
[illegible]　丈竜
[illegible]　少年　峯嵐
[illegible]　槐市
[illegible]　河瓢
[illegible]　汐菓

芳野西河乃俳

鮎乃ゑ乃んすさ海ー　海の青　土芳
かけろふと すきよちちつく小鮎哉　圃水
ちちゝ魚乃一かしまりや汐あさう　子珊
白魚乃ちらうよ明るも法ぬ　山蜂

你川よあうちて
ちちゝ魚をうるひあるゝ　ひまう軍　士角

青柳
ちらちらと蔭ゝ世話や青柳　正秀
若竹や新よつけ紀　賤乃ゑ　此筋
青乃世や　いつしの蔭ふれん　乃紅
川淀や法とやきむるあよの角　猿雖
青乃雨ちるやたゝ家の青ちう　園指

味ひや桜の花よりあらさき　車来
茨ちゝ咲ちふものも思あさこ　荒雀
世よりうちひ蔭ゝ花ふれ　馬莧
蔭ゝ山れ土堤乃切目や蕗の塔　拙候
姫ゝ山ゝ形ゝ花ゝ去大根　乃龍
早蕨や笠ゝ山乃　拉ひ　正秀
ゝて法笠乃　ゝ　夕可
日乃新ゝ猫乃抓ゝ獨活芽　一桐
蒲公英や蕊ゝ　ゝ　園落

猫恋　附胡蝶

赤新や角ゝ　ゝ　沈嘩　猫乃恋　探丸
うゝ恋ゝ　ゝ　猫乃盗　支考

おもひうち出うれ里ゑかける飛猫哉　三巳百

白日ふつゝ四ゆゝ

ゆきまりても翅を動く胡蝶哉　柳梅

衣文ゑのうさまゝや宮ゑ紙蝶乃羽　惟然

蜻の舞おつる枝ゑうゝ　園指

風ゆうゝ舞の出来乃小蜻哉　也羽　三乃

豆腐ゝゝ花ゑ散りて来胡蝶哉　雪宏

春鹿

振おゝ切やゝ廣世乃麻の角　沢雄

妻耕

妙福乃あゝ呂ゑあてゝさらゝ麻　本芭

苗机や笠縫をまれ青月　枝　武筋

千州乃田沢かつゝ乃ゝ雑波人　一流雪

桃　附椿

白桃やちりくも落ゝ乃の名　桃濤

令相ゑまゝ盛ゝ乃桃乃花　介花

伏見ゝ乃ゝ茶行乃上の桃の花　雪芝

梅さめゝゝ中とゝ乃ゝ桃の花　乃鷗

花さそふ桃やゝ舞妓乃船躍　甚角

江東乃雪面ゝ桃乃懐旧乃法ゝ花

れのゝ経文紙の不ゝ句ゝ沐浴の老ゝ乃ゝ

小服綿ゝ出ゝをやゝ出ゝつゝき　角上

穂ゝ枯ゝ椿ゝ蕊ゝ花咲椿ゝ乃　孫香

れゝあけゝくゝ見ゝゝ桜乃ゝ花の宛　洞木

ちゑ糸あり　もろこし續そ見侍　世坡

歎き　附蹄踢茗

山吹や垣よ干しる蓑　一之　閑指

因家の人よ狩しゝ

山吹も散るゝ桑ぶ鱒なまし　涵堂

搖おこしたゝしの藤　如蟻のよ　雪芝

藪蘇や穂麦　孝よ　荆口

真角

山乃端とちりうゝ真しまし　去八　魯町

まち雨　附まち雪　蛙

拍よりきまの社ゝや真乃雨　荆口

峠さゝ、涸子合りうまち乃雨　乃祇

まち雨や唐の山あるる墓ところ　游刀

ちゝ下るる武江の旅店を為ける時

まち雨や桂ちりうゝひ年　支考

まち雨や出ゝ雨よ進ゝまち社　桃青

洗雪ゝ雨よ出ゝ雨よ進ゝまち社　風麦

切洗ゝや塚乃苔ゝ乃苔ゝ乃　風瞳

汐干

乃ちり帆乃浦ゝ乃ゝ小舟汐干ゝ　支考

平川よ富士ゝ新ゝ文汐干ゝ　閑指

雜美

出かりりやあ真れ鶴ゝ葉加　許六

若舟ゝ越ゝ桐乃苗　風瞳

[illegible]
うけうりや嵩よ腰乃掛たかう　左芳
小米乃花ちゆ[illegible]れ　砧力
[illegible]毎り稲法や冊[illegible]や[illegible]の中　万乎
末の[illegible]かうれやぬけ糸　均水
[illegible]乃中抜室節　正秀
[illegible]乃鯉[illegible]北池　仙化
引[illegible]中[illegible]や田螺[illegible]　支流

二月尽

鰹[illegible]の[illegible]の[illegible]　支考

菜豆

[illegible]やまたらん[illegible]氷　お年　武仙

蓮道八[illegible]の[illegible]　石菜
[illegible]や熟[illegible]乃里[illegible]　尚白
蓮菜乃[illegible]ひさし螺乃貝　圃落
毋[illegible]乃[illegible]や[illegible]　山鐸

[illegible]
[illegible]と[illegible]乃文る出[illegible]

[illegible]や[illegible]乃[illegible]　春
人[illegible]乃[illegible]　芭蕉
[illegible]乃[illegible]　玄角
[illegible]乃[illegible]　嵐雪
[illegible]乃[illegible]　玄来
[illegible]乃[illegible]　左[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

泥すゝも苔田子なりけり　子規

山々を石山の梺に順礼の笠を通るゝ　法圓

郭公かくれの蔵や中一やくり

木陰草に花

撫子や日のくれかゝる立ち立

里〳〵乃ち姿ゝりぬ立ち立ち　蕉花

園中　二句

叶中乃古ゝゆゝいつ礼梅乃花　叶節

ゆ切乃ゝゆゝゆゝも梅乃ゝゆゝ　千川

姫百合や上ゝうさかゝ蝶の糸　素竹

題山家〳〵百合

ちゝ乃ゝゆゝゆゝ孤ゝ波ゝ百合花　文考

山ゝゆゝゆゝのゝれゝゝ牡丹　尾張

冷ゝ汁ゝゆゝゆゝ〳〵ゝ牡丹　法圓

ゆのゝゝゝゝゝ乃ゝゆゝゝゝゝ　イカ　宮多記

ゝゝ蒟ゝ茶ゝの花ゝ生ゝゝさく　拙候

ゝゝ酒ゝ居乃ゝゝゝゝゝ花蕊

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ花蕊　法圓

ゝ部ゝ碎ゝゝゝ出ゝ窓乃　宛　芭蕉

ゝゝ茶ゝ深ゝ　ゝ人　蕊葉

蘭の花とゝゝゝゝゝ　雑香

蘭乃花に部ゝ　水の濁ゝ　団節

蓮乃　茶ゝゝ　ゝゝ　白毛

客あゝ　ゝ　蓮の蠅おゝん　良弘

瓜

新藷よりとりて涼しく瓜の玉　芭蕉
抱月とやゆ独よ入とくも寒ら氏　玉晴
かくれん

簾おろる程に出まりぬ牡丹哉　風弦

夏苗

京入やるる初の田植の中　太祇
早乙女よ結んさ宮やうん笠の紐　園女
姫さる男の植あられる早苗哉　魚日
田植の雨ふくなる新の風ひびし　子内
一田ワ〜ひかりてやあるる　少枝
里のよう燕撫るまあ苗ウ哉　ち考

蛍

新米大の烟ちるるる哉　許六
こ日月に茶ウ常を嗜ようう　世萩

納涼

涼しさや竹撫ウ吹ウ蘇ウ哉　李殘
ウ草花や蛍草よむふウ　涼　惟然
深川の蓮よ高しく
さ宮氏茶や風よううれ納涼　史邦
涼しさやかる簾を出くの縄ふら　李徳　夏蛍
石ゆ〜や裏ウ明ウ〜ウすく　牡年
涼しきく牛乃屋揺ぐ川の中　百子

夏蛍　三句

腰つけく中よ涼しき清るかの邪　西堂
涼しさや椽より見る池の水　文考
牛の酔を祓ちはらふ涼うかな　雪芝

[illegible]と茅屋よりの[illegible]
涼風も出来しき碧のこりれば　游刀
ひとすじき中をめぐる涼うの邪　仝
[illegible]涼うしく人[illegible]涼うの甫　玄雪
黙然よこゝる涼や石乃上　正秀
職人乃惜まきこゝ[illegible]涼　士芳
涼しさや一[illegible]織乃風の音　我眉
[illegible]涼や[illegible]乃[illegible]　里園

[illegible]の[illegible]の[illegible]の

[illegible]乃子

苟よぬ[illegible]者乃扇乃[illegible]　可流
[illegible]や烟乃[illegible]つる庫[illegible]　世[illegible]

[illegible]雨[illegible]夕立

[illegible]や[illegible]乃蘭乃中　不玉
さ[illegible]や[illegible]乃葉乃畑　芭蕉
[illegible]雨や蓮よこ[illegible]　沾圃
夕立[illegible]合[illegible]日余　拙候
[illegible]雨や蓮乃葉[illegible]　苔蘚
[illegible]や[illegible]乃[illegible]　曉烏
[illegible]乃[illegible]　園水

蟬

[illegible]雨や中[illegible]乃蟬乃[illegible]　正秀
[illegible]乃蟬の[illegible]　胡故
[illegible]乃探涼[illegible]　乙州
蟬時やぬの織る宮の[illegible]　曉烏

[illegible]

[illegible]乃目や[illegible]　素拾

新[illegible]

[illegible]乃[illegible]乃[illegible]　松風
[illegible]乃吟[illegible]葉[illegible]や[illegible]　荆口
[illegible]の中の[illegible]　如真

川狩[illegible]
[illegible]や麦[illegible]　文鳥

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 平田[illegible]

[illegible]

[illegible]

老の身をとゝまる乃月も見てこゝ　文之友
明月はかくばかりしら雲はなかりけり　源芳

[illegible]乃山里あるとゝ[illegible]
[illegible]

二[illegible]　文秀
芥子苅と畑[illegible]　空牙
柿の[illegible]　如真
山[illegible]　宗比
名月や里乃[illegible]　市岐
場に[illegible]　利合
明[illegible]　丹楓
明[illegible]の道　世葵

[illegible]入乃[illegible]　正秀
[illegible]川乃[illegible]　文孝
[illegible]乃[illegible]　京桃

家[illegible]
[illegible]
姨捨を[illegible]　沾圃
[illegible]　馬莧
[illegible]　里東
月[illegible]　牧童

[illegible]川の末[illegible]
川上[illegible]川[illegible]　芭蕉

十六夜ちかつく頃の月初め　仝
ひさしぶりの月のちらの花　猿雖

七夕

文月や六日もまだあなたの海　雖然
星合ふ空も過ぎ行く天の河　涼菜
秋形の雲ちらつくやかりの初　京洛
月の雲ちらつくといふるまよいふ　沾圓
秋風や蘆の葉ばの乃の間ちら　乙州

立秋

蘆ぬうやうたゝふ行ふ軽の秋　嵐川
秋ふかや中ふ吹ふ雲ふ雲　庚次
稼茶

秋高乃花遠田乃稲穂ふ　柳桜
初工ふ乃ふ乃ふ乃ぬ桔梗乃つゆ乃　洒爰
ぬ乃花ぬ乃ぬ馬骨乃蘆乃形　濁子
ふ乃ふ一一撫板の秋ふ乃ふ乃　る莫
一撫ハ花ふ乃ふ乃ふ一一　畑道
ら国ふ乃ふ乃ふ乃や　花ふ乃ふ乃　烏栗
　　活芭蕉蕃　　文泥

百合ハ己美容と語ふ金ふ乃　風麦
ふ乃ふ姫乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃花　史邦
桔の乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃　万平
鶉ふ乃や庵の赤ふ乃ふ乃ふ乃花　芭蕉
鶉ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ふ乃ぬ日数ふ　至曉

[illegible]や雨戸にさゝる萩のしゝ　宮芝
[illegible]や孤しく動く秋の風　荷兮
山人乃屋敷を[illegible]れ[illegible]　加賀山中　桃妖
風ゝ毎ゝ長ゝ[illegible]　秋下

秋ゝ乃蒼ゝ[illegible]　田上尾
あゝゝ乃這ゝ[illegible]　閑指
[illegible]　[illegible]湯乃[illegible]　[illegible]麦
秋[illegible]ゝ一人や[illegible]　其角

雲　閑鳥

きゝゝ[illegible]　一の初
[illegible]　少秋

火乃消ゝ桐[illegible]　正秀
秋乃想や[illegible]　永[illegible]
[illegible]の出や[illegible]　[illegible]
[illegible]野や[illegible]乃味あ[illegible]　探丸
[illegible]野や[illegible]　蔦吉
[illegible]の実[illegible]　示峯
[illegible]　文[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　求固
[illegible]　支考
[illegible]乃名[illegible]　芭蕉

秋風

秋雪や二番草のこの穂させ　湖刀
雀子の藪も見えぬ秋の風　武之
何かうしかうかうかうの秋の風　文考
松の色や秋の雪　風國
をのつゝ〳〵茶の花を世をそむく　園燕
姿なるや世をうぶうぶうぶ　乃ゑし
あれ〳〵て赤い海の世をうぶ　猿蛙

稲妻

山うかゝい百姓稲の穂　一東
稲妻やさゝゑ穂のとしの海の上　宋氏
角行のや稲の百姓の踊るもの乃端　土芳
山形の百姓の関乃ゑの信の穂　芭蕉

赤實　附南

園栗乃ゑ〳〵ゑ　西吾
炭焼に沼柿の実　玄虎
秋〳〵や日和の色の沼柿の実　洒堂
沼の色〳〵の茶の花　桜〳〵　序雪
ゑの草や柿ゑ　清沼一さゝ　沼園
年寄乃ゑ山の実の河の実乃
茶屋紙ゑ〳〵ゑ
柿の実や柿ふゝ乃ゑ　野　梅盤
[illegible]
[illegible]
ゑの草や柿ゑ　[illegible]

楓

[illegible]　小飄

庵

庵もまた歌屋乃庵や風の音　風鈴

[illegible]　一酌

農業

[illegible]　車庸

[illegible]　買山

[illegible]　如言

[illegible]

[illegible]　芭蕉

[illegible]　乃梟

[illegible]

山路乃帰るとやらん[illegible]　斗従

[illegible]　支考

一本乃[illegible]　仝

[illegible]　惟然

[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

孫[illegible]

[illegible]　西瓜上[illegible]乃花乃稔　沾圃

菊

菊鉢二百十日も忘れ[illegible]　蔦[illegible]

[illegible]　渭子

[illegible]　支考

邵益屏

[illegible]山路乃菓乃高　瓦峯

[illegible]の時分ハ乃菓　式芳

昔春秋

[illegible]や皆頭[illegible]秋乃音　北水

[illegible]秋成競ら乃[illegible]乃根の秋　乙州

[illegible]秋や[illegible]ひ[illegible]雲のいら　芭蕉

雜秋

[illegible]海[illegible]乃やしく鼓一つ　之房

雲かく[illegible]秋小[illegible]乃中　圃友

あ[illegible]秋乃[illegible]　睦止

[illegible]鼓や高れ時も秋乃雨　日友

為[illegible]に[illegible]乃[illegible]　萩子

[illegible]や稲[illegible]く宗乃[illegible]　乃平

柿乃[illegible]　業門　宗波

[illegible]馬[illegible]嚴[illegible]の笛鼓

[illegible]の[illegible]乃

[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]

稲[illegible]や[illegible]乃[illegible]　[illegible]

[illegible]

秋の部

時雨 俳諧

この比の俳諧は殆月や雨の時雨
なるべきなれども又初時雨の
景をも人もまれなる事なれば
一時雨ちらしたるを新なる部
和しられ小端の芋の葉の藏
平押まる反因なる時雨の部
昨夜賞せしてまたれば業週の
旅賞しもよ世界の初時雨
穴無の物なれば時雨
夫なる所や読まるる一句なれ

時雨 芭蕉
少数
蕉
落法
馬莧
時雨
陽指
空牙
力者
鶴に

秋の部

時雨の降るに雷鳴を聞て
柿の色日和もたしや時雨
こそこそと雨の里八條時雨

雷鳴 芭蕉
降り
里圃

海雲をもてる山の宮よりきたる
日和ちらしてあるかの発

沖雨の船日ちらしの時雨の形
まれ系や大方なかく月の沈
船よりの蓮の一系し船の系

沖雨
小鯉
支考

元禄三年閏六月九日素堂
蓮園に遊
主翁の宴を林世月の子ふたりは
待る支ハ子の沙を親はいかにせ

やうに菓子屋の前を通りすがりに時刻を問ふ
いつはりなくいとはるかなるやうにて展望場
のあるなりけるにしもあるべきを程
秋の菓子と御覧くべしとすすめられ
たるなるべしとうらめ

菓の香や一度切るる後の底　黄鳥

秋乃色や紅あるうしろ菓乃姿　其角

菓乃氣味如何ぞ擬乃平　桃隣

八重乃雨や切れまぶ菓乃姿　洒園

何魚乃かきしに雲ん菓乃殺　素丸

菓富士園世とにしてとうろう　玉蕉

世菓乃源左衛乃聚と数しと

なるべし菓子屋乃人のとなき
なり造作のうるあるべしもの菓
をよかりしとなるべしつかるとなる
といへば家の菓子屋乃業なりて楽かし
みるるかなるにとて人見竹洞老人
素堂を送るに小しうるとう
うるとと和みてあるべし
なきに聴きあるを風雅とあ
てるべしうらめ

菓　附木

水仙や練塀乃外乃菓乃女　素堂

水仙や一日乃遊百　曲水

なれ清く咲やとく葉かれ乃水仙花　氷園
ゆ紙乃花乃ふ[illegible]也藪垣き　惟我

花蘭の趣南乃うゝ吾れいる
山家集乃頌ゝ翠ふ

一言ゝ[illegible]ゝこゝ石さ[illegible]ゝ葉乃氷ゝ[illegible]　[illegible]
山茶花ゝ[illegible]ゝより爾く[illegible]ゝ花　車庸
ゝ[illegible]乃ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　士[illegible]
山茶花ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]散ゝ[illegible]　[illegible]

赤葉　[illegible]　[illegible]　風

初ゝ[illegible]ゝ赤乃ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]の数　[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]乃[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　惟然

赤葉ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　松風

ゝ柳坊宗[illegible]乃[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　一遍
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　杉風
牛乃[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　桃隣
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　乃[illegible]
葉[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　利牛
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　支考
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　望月
風や背中ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　風行
本[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　惟然
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]生

夷講

[illegible]ひす講敬[illegible]

[illegible]講[illegible]も勝よ成[illegible]

鳥 附いを

乃ゆ乃海をこそ　芭蕉

[illegible]浦路　角[illegible]

[illegible]千[illegible]　[illegible]

[illegible]中[illegible]乃[illegible]　[illegible]

[illegible]乃[illegible]千[illegible]　閑指

[illegible]　芭蕉

[illegible]乃[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

利合

[illegible]海[illegible]　車屑

[illegible]子持[illegible]乃[illegible]氷　伐氷

一[illegible]初[illegible]魚や[illegible]　杉風

[illegible]や脳[illegible]　拙候

杜夫魚[illegible]の脳の大きさ水上に浮ぶ

越乃川上のこあるうかるう

[illegible]　明舎

[illegible]や門[illegible]乃月　四園

[illegible]猫乃[illegible]乃月　文蓉

[illegible]紙[illegible]　小春

[illegible]乃[illegible]　支考

埋火

埋火や客の新たなる　芭蕉

俤しらるる炭を鉢に焼　桃先

自中さや月を遠ざけ雪を慰　洞木

雪

神垣や門に格子の多き　其角

新こそや月をうつせる泥の味　仝

雪あるに礼心なるうるさし　夕菊

鰤鰤や水をとらるる小舟　拓甫

雪を掘色をたづぬる人もあり　雪芳

埋火のもれやすの音　支考

片雪や雪消うるすき俵　圃吟

さらさらと雪見んや男枝の家後　丈芳

髪剃も陸奥なるうらのけ　陽和

伊賀なる和尚なる山や雪の花　砒力

神楽

雨神ふるに歯も吟ぶあぬ宮　史邦

涉るなる

食時やうるるに涉るもれ　涉芳

涉るれて鮭壹をすまるうり　馬莧

抜人の門もさらり涉るきし　許二

振袖遠うるに涉るる寒　涉圃

煤掃

煤掃の頃うるる　涉香

煤掃や氣遠迎芸揚の中

燈ちらすやあらしの中の紙　英遠
あをえんの藤の乃乃や燈えん　乃莫
燈ちらすやつゆ出ぬ秋　和三
煤掃や杉あの一枝踏くくし　同如
餅つきや光ぬかゝゝ雪の音　惟然
餅ちきやあるとしの雪のよ　紙水
ちら掃乃乃ゑ侍ひ来るや小山伏　嵐雪
　　附記柔は衣砧　馬佛

冬籠
こ孫返しの乃も師走の市の音　岩元
門松やあきゝゝ人の淡人数　里東
賣ゑんやとんもいるゝ年の音　草士
掃もあるよのりゝ人ゝやゝの音　車来

大年や新ゝゝの掃乃乃　百乎
待ある年入ある年乃乃ゑ　里由
年歯市淋と呼ゝん相織よ　之角
打ゝゝゑ小ゝ市の淋ちゑ　正秀
引結ん一作ゝ淋やゝゝの音　蕉子
掃の掃乃乃ゝあゝゝ年の音　猿雖
天鵝毛乃ゝ乃ゝ乃ゝ自の音　惟然
淋蕪ゝ年と結ゝゝゝの音

以句を圖司呂也ゑ和ゑ言ゝゝ亥
のゝゝゝて伊勢ゝもあゝて待り
ゝゝゝゝの中ゝの音ゝる変もいひ
孤ゝて中ゝゝ中ゝ人ゝゝ乃乃

[illegible]

芭蕉
文考
士芳
尚白
桃後
山蜂
利合

[illegible]

[illegible]

鉄牧
士芳
[illegible]
仙枝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 井戸の[illegible]　曲翠
[illegible] 二[illegible]　百[illegible]
[illegible] 拾[illegible]　之[illegible]

[illegible]祭

[illegible]　嵐雪
[illegible]　[illegible]
[illegible]　佐國

甲戌の[illegible]
[illegible]　芭蕉

[illegible]少年二句

[illegible]の著も有[illegible]　惟然
[illegible]の[illegible]ハ秋の風　支考
[illegible]
[illegible]の[illegible]ハ稲妻の[illegible]の[illegible]　[illegible]
[illegible]ハ稲乃[illegible]　支考

[illegible]　[illegible]
[illegible]柿[illegible]　[illegible]
[illegible]八　佐國

[illegible]　[illegible]
[illegible]　許六
[illegible]ハ[illegible]　[illegible]

雜題

[illegible]の[illegible]如堂[illegible]

南條の時

涼しくも世の山よりつゞく俤　玄蕃
をうとうきして二本さしうゆ山家　知月
り畑もらうちかうして俤生世　乙州
そのゝふる川越向やゆ富士あるて　不耳
まちかれに教の名源一会俤　飛城
会堂を雀時帰あり夕　去来
旅し部

送別

元禄七年の夏芭蕉の別を送て
責めるに餞会のその別う郡　素堂
別るやゆ柳冷しかるゝ坂の上　惟然

許六ら来るむく時
旅人のたゞ名ゆも仰よ椎乃花　芭蕉

留別

塔乃惟然ゝ宇ゝ古今ゆ時
蒜ゝちゝ之の芋ゝ子ゝ亀　文竹
鮎の子の占ゝ魚ゝ送ゝ別ゝ鳥　芭蕉

甲斐の国の昭ゝ語ゝ句
宇ゝ治の山辺ゝ行ゝて

年ゝ行ゝて牛ゝの行ゝ苔ゝ社　湖水
柳ゝ自ゝ色ゝ世ゝ沈ゝ蕉山　越人
五ゝ七ゝ七ゝ句ゝ俤ゝ蕉ゝ山ゝ　世舟

芭蕉の図ゝ句ゝむく付ゝ名ゝのくゝ名ゝ人ゝ

[illegible]

十間ほども小清水あり西秋の風

大名れ庵の[illegible]　　全

[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]八土て家[illegible]　　猿雖

明石の[illegible]　　我華

おちこちに[illegible]おつしの馬　　史邦

四四の小[illegible]の家[illegible]

文臺乃[illegible]　　[illegible]

我蘭園[illegible]　　伯圓

常陸の[illegible]

[illegible]

あらとうとまりれ二歌仙

乃野の下[illegible]

[illegible]　　小室　　閑　　支考

[illegible]　　全

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

炭俵

炭俵序

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うしとうちてはくむ

元禄十の年夏関さき初三乃日素堂書

むめづけのつとめ乃出白山詠歌　芭蕉

玉ゝに雑ゑ乃帰ゝ花　野坡

宗旨重詰を重のてすきよう紙　仝

上乃ゑうに花あうるまま乃歩　芭蕉

雪乃間ぞうくゝとの空　仝

ウ

嶽越てあいに乃さ月お　野坡

宗旨く菓ゑ乃ゝをゝいわ乃さ　野坡

旅と聖ゝ人ゑあは歩ゝめ　芭蕉

名

ゑうにぞうひ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ細基　野坡

こゝゝゝ雨乃奴ゝめ　六月　芭蕉

形けゝうみうゝゝゝゝゝゝ向河原　野坡

月ゝゝゝゝゝ出乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃事　芭蕉

新ゑ方居乃　持　仏をゝゝゝゝ　野坡

うんにゝゝゝ九ゝゝゝゝゝゝゝ君月　芭蕉

ゝ乃ゝゝ京掛　掛下乃ゝゝゝゝ　野坡

ゑゝ乃ゝゝゝ居合ゝゝゝゝゝ　芭蕉

町ゝ乃ゝゝゝゝゝゝ砕て京の花　野坡

門ゝ押きゝゝし　千生乃　合傳　芭蕉

京風ゝて夢ゝ乃いまれを空ゝ　仝

ゑゝ乃ゝゝて脱ゝ乃ゝゝゝゝ　野坡

江戸乃方ニ赤ぶ乃月ハ高ク出テ
こゝにもいなかの月をうし
方くれて十夜乃内ニ入る乃ち
桐の木ニくゝり付る面影
門ニ立て名ぬ乃ち
月さゆる　し
ゆらゆらと食で表ゞへすゝ
てつ手ニ女房乃井やこ振ぬて
又さのうち学ぶ　人
清水乃陽炎を送る花ざかり
ちゝハゝを下りくゝまぶの出来
ぞの東ぞ東乃方ニ家をあみ
無ケ咎ぬ　くゝ乃新　ち

芭蕉　野坡　芭蕉　野坡　芭蕉　野坡　芭蕉　野坡　芭蕉　野坡　芭蕉

手ごゝ乃夢一ぬくゝ家ゝ乃り
ホを力ニ乃ぬ乃ぬ乃ぬ
清へ去ゝ下ぬ嫁をつ小ぬ乃
屏風乃清ぬ乃ぬ乃ぬ今盆

芭蕉　野坡　芭蕉　野坡　芭蕉

三吟

兼好ハ遠郷ゝ乃ぬ乃ぬ
あさゝ色ぬ芦ニ雀鳴　か
片乃ぬ乃ぬ乃ぬの小ぬ乃ぬ乃ぬて
ぬをさよぐ　周ニ桐樹場
細ぐと乃ぬ　ぬ乃ぬ乃ぬの青乃ぬ
ぬ稲ぬ乃ぬ　ぬ稲ぬ乃ぬ　ぬ

芭蕉　利牛　野坡　芭蕉　利牛　野坡

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ウ 雲まをうつてみをうつる月哉　孤屋
ゆうりくとゆきの山の月　利牛
藻塩の乾き入るる波の音　牡波
うつさぬ月の高水あり細川　光竜
物あるはなとさらさらと雨の音　利牛
まぶ飛ぶ後の心月の俤　牡波

ウ 子の川さきにうつる麦の穂　孤屋
雲の花さきにうつる麦の穂　芭蕉
雲の水鏡の雲ふ水清川　岱水
上洛を通ぶの雨ふる　利牛
うつるの乾ぬ水の空中

寂寞を消すわく居あり月の夜　芭蕉
どうとう塔の上のうぶ秋風　孤屋
ウ 月の蔭の下の時雨　利牛
時の仕事の立まるし　岱水
妹とよいふうとさらさらと　孤屋
俤の雲へまぶ夕ぶ　芭蕉
風和の春明ぶ雲帰り　岱水
家のちぶ海を見る月　利牛
鶏計りの者よりうつる　芭蕉
茶を貴を拭ぶ壺岩　孤屋
この月まいどうやう雲　利牛
うぶ柳紙なる中しぶ　岱水

言乃詞吹ぐ多解　孤屋
ちんめぐくも乃　芭蕉
石伊本滝と申乃わるくなる　密水
そちら坂をもとくちあがくし　利牛
清中乃ひとうよも第　芭蕉
素をひれるくるかをあるくる　孤屋
芝のまくれをくんでのれくぐ清をき　利牛
宮城遠くもたる　独　見　密水
今のちれをもよさとさてる　孤屋
を貴さんくしけるふ水よくわ　芭蕉
息をは独以乃ちぐのちでさよ　密水
懐をかとめもちタ乃時くう　利牛

名月のまれ今をれ芋　烟　芭蕉
ほくしいちをを家鉢　孤屋
ウこのごろを宿を酒うまき　利牛
山乃松原乃　転うしくう　密水
ちこをれうよくれの吹生　孤屋
晒乃上に日をちり　時　利牛
花見をを女をくがつ出を　芭蕉
案乃ちさ句に葦角ほ　密水

芭蕉　孤屋　密水　利牛

百韻

各九句

るを深父と
岩のいぢらのさ白さく　初牛
面あげり　陽報　金魚の鳴出て　丹波
多町　むらよ　西　ゑぐ　孤屋
年行に　茶　あ乃　紅　ぐ　利牛
るが　鶯　小　くわ　く　人　丹波
言乃　有　干　茶乃　茶　け　わ　孤屋
掃　ゆ　ら　極　ち　し　利牛
ぐ　ま　れ　ま　ほ　丹波
ゆ　れ　ま　で　ま　ま　孤屋
ゆ　ま　ま　ま　ま　ま　利牛
ま　ま　ま　ま　ま　ま　丹波
ま　ま　ま　ま　ま　ま　孤屋
ま　ま　ま　ま　ま　ま　利牛
ま　ま　ま　ま　ま　ま　丹波
ま　ま　ま　ま　ま　ま　孤屋

十二之弁乃うをとを
本堂は　まはるを
日乃　ゆ　ま　ま　ま　利牛
只寺　ま　ま　ま　ま　丹波
近　ま　ま　ま　ま　孤屋
天　ま　ま　ま　ま　利牛
ぢ　ま　ま　ま　ま　丹波
様　ま　ま　ま　ま　孤屋
寺　ま　ま　ま　ま　利牛
小　ま　ま　ま　ま　丹波
ほ　ま　ま　ま　ま　孤屋
ほ　ま　ま　ま　ま　利牛
ほ　ま　ま　ま　ま　丹波
ほ　ま　ま　ま　ま　孤屋

ないと始めてくるもあるとい
奉行乃ふもまたつゝび
ゆくよ孫ふ武士乃ゑのつゝび
当あのつゝ大ゝ乃大田平
切端乃咎ゝ仕ゝ孤行ぞこ
ぐゝ納ゝ仕ゝ廣ゝ
瘡日代まゝ仕ゝ孤こゝ
着ですげゝ下駄乃きゝ
つゝあゝ乃ゑゝ
ゝの裏乃遠き井のも
れの庭樣ゝ乃ゑ吉花
ずゝれゝもゝこゝ

利牛 孤至 利牛 孤至 利牛 孤至 利牛 孤至 利牛 孤至

ひつゝゝ少ゝ毋ゝ孤ゝ
戸でゝゝみし小ゝ孤ゝ
代遠ゝ根と柊乃すゝあひて
ゝ小ゝ八あゝゝきゝ
淡ゝゝ宿ゝ男ゝ孤ゝ
所ゝ比ゝ花乃瀧乃ゝ
餅ゝ孤ゝ
天陽の狀ゝ
ゝ神ゝゝ
むゝゝ
燃ゝ影ゝ
十四ゝ乃ゝ

利牛 孤至 利牛 孤至 利牛 孤至 利牛 孤至

月見草のかきのけ葉乃ながれ
弦月風流　重之　橘

三
殘螢飛のいこゝを庭に迷ふ
小ゆきまの乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ
稼稻の穂ゝ乃ほのぼのとなびけり
清乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ
畑乃　畑乃　畑乃　畑乃

利牛　孤屋　野飯　利牛　孤屋　野飯　利牛　孤屋　野飯　利牛　孤屋　野飯

落ちれこゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ和ゝと乃ゝ乃ゝ
一ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ　鶴乃　重　橘
鶴乃ゝ乃ゝ乃ゝ乃ゝ

利牛
孤屋
世渡

利牛
孤屋
世渡

利牛
孤屋
世渡

利牛
孤屋
世渡

利牛
孤屋
世渡

利牛
孤屋
世渡

城もきゝぬる銀治屋乃こゑ乃居さま　剃牛
門道ゆくた所乃　朝涼　孤屋
彼岸已一立乃　花乃咲こゑ　牡蠣
こゝ人　なぐさ　散りしよ　まち　秋香

春之部　歳句

立夏

蓮華ゆ　ゆ　伊勢乃初鰹　芭蕉
京ゆゝやまゐ　ゐ　ゐ　戸　和　獨子
みちのくゝ　ふ　実越　新乃海老　秋風
夏や　後よ　冊波　廉　内　京　夏
乃　ま　ま　ま

[illegible]

利牛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こわりとも つゝて 椿 桃 南 湖水
陸ふごー 月乃ひかり 桃 南 青蛙
あ人 あちこちして さくらゝ 柳 氏 世殷
やまし 出いの 乃 尾ハ 人 牛 さら 柳 氏 一風
町 ちらく さくゝ 宮乃 柳 う 年 利平
傘に 押 わりなんて る 柳 う 年 芭蕉

椿

土 ちこ 山 簾 年 ちの 辺 椿 う 南 孤屋
枝 ゝ 伐 ゝ めぬ 春 と 椿 う 年 湖水
念乃 ゝ ゝ ゝ ゝ つ 底 椿 う 年 曲水
話に ゝ ゝ き ゝ め み せて ふ つ き 桃 年 嵐雪
ちのわり 孫に 氣 後の 赤 椿 文 考

ちゝ 掃除 ちゝゝ 椿 散に う 世殷

花

う ゝ 乃 ゝ 花 乃 ゝ ゝ ゝ 行 年 人 乃
春 打 ち 玉 ち 乃 ゝ ゝ ゝ 乃 ゝ ゝ
ち り 年 ゝ ゝ ゝ ゝ れ 打 ゝ ゝ ゝ
ゝ ゝ ごき れ う ゝ ゝ あ 花 ん ん 代 芭蕉
ち つ ゝ や 内 で 花 ゝ ゝ ゝ ゝ 杉風
う ゝ ゝ ち ゝ ち ゝ ゝ ゝ ゝ 文竹
ゝ う ゝ 乃 ゝ ゝ の 為 ち 花 ゝ 行 て 素堂
中 下 ち う ん ん お 為 乃 ゝ ん う 南
ゝ ち や ゝ き ゝ う ら と 実 あ ち 春
湖 ち 乃 湯 と 片 膝 や 夜 の ち 孤屋

あしたこそ雲乃青乃めくさ武　刑口
たうれてもゆくこゝろいきる花乃武　斜嶺
柿のかゝゆゝゆすらゆやゝ花の中　小殺
牡丹さくくくもやゝ雲乃くさ九くく武　海青
あしたくくくゝ花ゝ五戒乃さかくく武　真角
雲ハよも手雲に有しか梅　大津あさ月　紫竜
やまきれくくちゝやゝ小川乃ゝ手軍　
老若もかゝゆゝかつきくる雲くく武　高槻　之丸
謡曲くく雲海鶴くる遅さ九くく　北庵　越前鶴井　茅舎
山桜小川　花こゝ有ゝくく　
思ふ〻〻やゝ雲ゝ上自おつく庫裏塔　利牛
あちつきゝ魚やゝまくゝや梅くく　全

杉くゝる梅下ゝゝ　蓑所　孤蓑
乗まくくあくくふ山ゝ　花乃武　蛇波
食乃時みゝあくくゝ山さかくく　全

上巳

花ゝ雲ゝ川乃ゝ　ゝくくゝ武　浜逢
雲ゝ雲ゝ雲ゝ乃ゝ　ゝ武　桃隣
くくくゝ乃ゝ桃ハ　ゝ武　甚角
思の子に緑と居ゝ　ひゝゝ武　
日半咨戦ゝゝ　桃ゝ武　浮波
麻乃往毎年砂ゝ　桃の花　新牛
彩雲やゝ乃ゝ　魚ゝくくゝ乃花　孤蓑
青柳乃泥平ゝゝ　ゝ武　巨蕉
蛙ゝゝ

[illegible]つゝ命寿こゝ[illegible]少あ[illegible]
[illegible]や[illegible]の[illegible]つゝあ[illegible]の滝　芭蕉
[illegible]ゝの夢や二[illegible]　子珊
[illegible]ゝとこゝ[illegible]焼門[illegible]つゝ[illegible]　[illegible]
[illegible]乃[illegible]や[illegible]乃[illegible]張や[illegible]乃[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]乃[illegible]　仙華

[illegible]

[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]

[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]

遠藤四夫　秀有

夏部之裁句

着夏

[illegible]ゝを乃[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]
[illegible]乃[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]
[illegible]乃[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]
[illegible]乃[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　[illegible]

うの花や芋も乃るの夜明ぬ　許六
乎乃るの手和あるくやかつらけ　支考

[illegible]ら[illegible]

稼乃秋さや[illegible]一めぐの舟　鉄夫
[illegible]宗祇池よ蓮あるあるの弐　素堂
うくひすや竹さるる叢に老と雪　芭蕉

郭公

[illegible]ぐ[illegible]ハ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　桃隣
[illegible]ぬ[illegible]ぬ二三乃格乃東明こな　其角
[illegible]炒紙[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　嵐雪
桃[illegible]乃[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　杉風
[illegible]の[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　芭蕉

[illegible]や[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　素堂
[illegible]帝[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　利牛
子[illegible]乃出[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　化竹

麦

稼[illegible]ぬ麦秋[illegible]ぬ[illegible]ぬ　荊口
麦乃秋[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　千川
麦[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ　許六
[illegible]乃[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ
刈[illegible]ぬ麦乃[illegible]や[illegible]乃[illegible]　利牛
[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ
麦畑や[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ麦の中　馳波
[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ

[illegible]る[illegible]の[illegible]ぬきて　盛水

端午

[illegible]雨や[illegible]る小人形　芸角

[illegible]みて平[illegible]の色　大阪酒堂

[illegible]あやふ[illegible]　桃隣

五月迄[illegible]　[illegible]　嵐雪

又もなく[illegible]　仙化

みをのやう[illegible]　[illegible]

[illegible]ぬぎ[illegible]拾ふ　素龍

夏旅

[illegible]町のあつさ　卧[illegible]

[illegible]　斜嶺

二[illegible]あつさ　[illegible]

[illegible]山乃力及[illegible]　猿蓑

[illegible]　芭蕉

[illegible]田[illegible]の侍

五月雨

[illegible]　素龍

[illegible]　桃隣

[illegible]小[illegible]　[illegible]

[illegible]　嵐蘭

[illegible]

[illegible]雨や顔もよごれもの[illegible]　盛水

涼

[illegible]　芭蕉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けしとよい鶯のうれしの山雪　秋蘭
一枝をすけるよ行のわるる月　仙花
竹乃ゑや四人共歩人乃ゑ月　嵐志

さるへき人供う酒をたしむすとかさ
戒ちうひて話をしむるれある金
ゑれとよくくあくあくさあ有りあし
名名ゑ乃ゑ月ありと元生あるしとれ
ゑれく行とかゑく

ゑて酒よ名乃つくあゑゑ八　利牛
あゑ人の釣聖さいるかれ妻るあ
てあゑゑ月ゑゑつゑしかのゑゑ
ゑ雪とわてゑゑみゑや立元ゑ　世坡

雜之部

秋のあれいつれうゑの中ゑ
月と鶴く時彼の寄とえゑゑす

名月

名ゑゑゑゑゑゑゑ居ゑ歌一よさ　湖春
名ゑゑゑ樽元ゑゑ桑の鶴　玉兎
家雪ゑゑゑゑゑゑ那ゑ月　荷兮
名ゑゑゑ酒吹起ゑ毒乃　洒堂
月ゑゑゑ生船揚牛ゑ乃月ゑ　里東
ゑゑ酒ゑ樽乃ゑくさよゑ一乃月　利牛
ゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑ酒の月　夏角

むさしの伊勢のゑゑゑゑゑ
望峯ゑ不妻爺波と

明月や不二ゑゑゑゑゑゑゑゑ町　素堂

七夕

笹のうら板をやほ[illegible]むく　芦角
星合ひ[illegible]ん[illegible]ん[illegible]ん[illegible]ん　やかやの縁　秋色
七夕やふりうるあとの月　蓬生

[illegible]　西堂
[illegible]　[illegible]田
[illegible]月　飛坡

湖良

閑関

[illegible]　[illegible]
[illegible]　利合

秋出

[illegible]　[illegible]月
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　孤舟

廉

交廉の帰とゝろ[illegible]小廉子　車軸
[illegible]て
廉の[illegible]や便の[illegible]　素秋
[illegible]の[illegible]
[illegible]廉の[illegible]　[illegible]

草花

[illegible]乃萩や[illegible]の花　桃流

花すゝきとゝへちらゝや村すゝ[illegible]　野壺

竹家乃蔭や刈[illegible]の端　猿雖

草乃[illegible]や[illegible]桜　文明

[illegible]

草乃[illegible]の草[illegible]や客の猿　[illegible]

草物や[illegible]の[illegible]　其角

菊

菓畑おく[illegible]　杉風

[illegible]　桃流

秋[illegible]

[illegible]の[illegible]　利平

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]の桃　[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]と南[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

冬之部

初冬

風吹て[illegible]きの[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　評言

[illegible]のこころ

小根雪[illegible]の間ら挽やうな　世蛟

大根引[illegible]

[illegible]山坂を[illegible]や大根引　宗意

沖よりとれくるふるれて大根引　世蛟

非[illegible]しまるるの　大　根　西雪

[illegible]

人[illegible]の[illegible]　[illegible]　世蛟

[illegible]　[illegible]　示誠

[illegible]麦切[illegible]　[illegible]　利牛

[illegible]　我屑

無[illegible]や[illegible]　里東

[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

雪

[illegible]　世蛟

[illegible]　利牛

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

杉のくれ葉にしぐるる時雨　文秀
夢の紅葉や作世くれの月　少我
うつるやしらぬ時雨の月　許六
屋敷ぬけ横町さびる蔦の秋　惟方
海山ぬけて海の月　丁州
行の中や曲がる大工の音　素龍

題ふるの

ゆるしなし猫の恋　如花
こもり勢や新酒の酔　壺蕉
経つ月年を送り出す　許六
出る蛙月を恨むうらの村　智力
白うとのうらき白いや枝の音　之道

梢の雪やあらつき方れ　丈中
庚申やこるにに大燈乃あるゆえ　秋香
海へ降雪やゆるる波の音　甚角
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　全

ますます
煙るきいこしら柳つる　大工
線香　きしくとくに代表　芭蕉
俳つきや文稚さんの墓　方平
山外月のうらの出る時　聖波
侍ますや水ぬるしぶらいくい　宗吉
　　蔵義　　　　　　　　　　　　　　　　　　　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月夜かり出さんとせしに海
面はおだやかにうごきぬ月
影澄て離乃さゝなみ小ぐくし
風はたゝかぬ代なりしが
夢うつゝ乃秋波は樹乃音ばか
むらの子あのきものゞせゝ
いさんはあきなくれつゝひとを
ゝゝ乃縮乃あゝぶしさ　内
立ゝまれがとよさゝれてやつれゝ
あがゝりゝへで小作いよゞれ
ゝ乃立窓相乃　秋ゝ乃ちて
ゝゝとゝきゝゝゝゝゝ

孤雲　ゝゝ角
真つ角　孤雲
孤雲　ゝゝ角
孤雲　ゝゝ角
孤雲　ゝゝ角
孤雲

君ゝゝゝゝゝゝ
裡ゝゝゝゝゝゝ
ゝ詩ゝ蓮ゝゝ
小ゝゝ冷ゝ月乃空　月
紙ゝゝゝゝゝゝ
上ゝゝゝゝゝゝ　ゝく　白雲
小雲ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

孤雲　ゝゝ角
孤雲　ゝゝ角
孤雲　ゝゝ角
孤雲　ゝゝ角
孤雲　ゝゝ角
孤雲

孤雲ゝゝゝゝゝゝ
ゝ四月ゝゝゝゝゝ
真角　孤雲　廿六日

三井氏四季の内

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法師乃事ハ　世波
明ちゝ武蔵野挑灯と吹けゝく　孤舟
肩癒よりて湯殿の亭茅　利牛
上きゝれ干ゝ茅初むもうの亭　世波
るゝ出ぬ口ハ　紙屋　亘蕉
紙屋れちゝ　利牛
塚千門みる西千　孤舟
牛後れ餘鬼ゝ　亘蕉
砂ゝ暗れうゝ　世波
二
新鳥れ蓑ゝ　孤舟
吹ゝ　利牛
川越乃帯し　世波

又二十二

平地乃事れうゝ　亘蕉
干柏とゝ向乃方へいぶゝ　利牛
塚出れ野れ苞ゝ　孤舟
年年千住西ゝ　亘蕉
み沙ゝ　世波
ゝ　孤舟
ゝ　利牛
ゝ　世波
ゝ　亘蕉
ゝ　孤舟
ゝ　利牛
ゝ　世波
ゝ　亘蕉
ゝ　利牛
ゝ　孤舟
ゝ　亘蕉

見まいりのつまとなれば
そもそも月の二月中旬から
海岸にちらつく風

芭蕉　利牛　世波　孤舟　香九郎

雪のホネ地にはみまで尚寒し　杉風
四の山ふもとの月あきを元　孤舟
下者と一番宿よりの月　芭蕉
ありとぎすなく大名の供　子珊
月あるる風もふいて月秋　桃隣
栗をとる小ぶまの畠地　利牛

然るに秋はきれる秋の水　芭蕉
ながらふるとは雨の節　世波
ここに来て春不知の門の秋　子珊
ゐる乃前ぬのさりの手あり　泊國
竹の皮寄せる高山の雨乃ちり　石菊
稲ふるのさい雨乃ちり　杉風
まるの者は一人もみるの浦乃秋　世波
めるの手風のちりをる　利合
すしの乃角とかこうて祝太工　伝く
岩の中へのぐる四人とうゆぐる　桃鄰
茶ちりれきハづく上の花ちり　子珊
川ふるくれ小船いぶまる　石菊

[illegible]　[illegible]見
[illegible]　紙水
[illegible]　狗谷
[illegible]　[illegible]
[illegible]　桃鄰
[illegible]　伝く
[illegible]　法園
[illegible]　子鯛
[illegible]　利牛
[illegible]　[illegible]風
[illegible]　行合
[illegible]　世渡

[illegible]　子鯛
[illegible]　利牛
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]風
[illegible]　桃鄰
[illegible]　紙水
[illegible]　狗谷
[illegible]　石栗二
[illegible]　桃鄰四
[illegible]　[illegible]二

阿蘭陀

阿羅野

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みよの雪をとりてハ花も降るらん
をるの為あらん下戸引て寄るいかゞ
下くの下れ笠をいとゝ花の雨　冊水
花乃山常盤ハ枝もかゝる　長岡
見あらしふかりぬ花の滝　一井
見渡ハいつくハ花ぞ春の暮　津島　俊似
ちるを花を流ぬ人を　嵐渚
登河を教てもよし花乃流　寺泉
さつ花乃中　班ら金ていまいま　胡及
紫雲乃花咲ぬ雨乃　津島　下枝　杜江
ぬれをれよりて通る花の枝　蕉雪　酔歩
連ならや後世ハおもし花乃時　蕉雪

病癒の祝ふる花又ハ
あるゝ多やや風車賣花乃きゝ　金下
花よりきてうつくしく病人乃　蕉雪
山あひ乃ゝ孔城夕ゝ乃角ゝ　さつ
水母ゝや沒宮ハ多ゝ花の雪　心苗
なりあひやゝ花を北地乃嵐　越人
独ゝ友遊ひ乃ゝ花の山　北水
花をとこゝ蕎麦の尾上ハ　水秋
首出て茶乃花ゝ飽ゝ　冬文
　　蕉雪
　　芭蕉
酒のゝ春ゝ酒の山乃ゝ水
月花ゝなくて酒の山乃ゝ水
あゝ人乃山宮ハ嵐ゝ

檀のあれてあるかなきあるかなし　仝

杜宇二十句

ほとゝぎすと鉢をくまなよそおれて袖ぢの時雨　雪峰

手ぬぐひ手ぬぐひ夏月ふるふるし　郭公　素堂

月ふるまふるまふ山ほとゝぎす初うかれ　泊雲

いそうきかゆ　習鯉　幾人

蟬鶯乃月ふるふるやほとゝぎす　沐雨　雲下

おんしーまの月ふるふるや時ふる　辛夷

沈やゆ先ん乱乃つく世をしの郭公　柳風

ほとゝぎすとゝぎすとゝぎす世の変き

あるくんのあそ雲白ふるふるふく

ほとゝぎすとゝぎすとゝぎすもあき烏うれ　菊逕

時ちきの空ふるふるやほとゝぎす　蕉梧

切る金夏きの紙ふるふるや時ふる　一鼎

ふるふるふるふるふるふるや郭公　日

沈ふるふ

ほとゝぎすとゝぎすとゝぎすとゝぎす歌舞伎　風泉

時ほとゝぎすやほとゝぎすのほとゝぎす　岐阜　杏雨

あるふるふるやふるふるふるふるふる郭公　金下

ふるふるかふるやかふるかふるほとゝぎす　日

ふるふるふるふるふるふるふるあひふる郭公　沈雨

ふるあふる月の月を残ふるふるふるふる　大津　春月

ふかふるふるふるふるふる人ふる郭公

うつふるふるふるふるふるあきあふる郭公　李桃

うつるとまつ夢のうきはしの　京山

月三十句

かるくしゝ笹のうへゆく月おそし　十三里水　梅舌

ゆくすゑも月をる中の狩ゐ船　湍水

月のうをひろうかゝの今宵ぶ　一壽

面のうゑゝこゝもるりの唐あうう　越人

ゝゝゝゝふ月服むく月おそし　清雪　昌碧

蛍の月の宵ハさゝ花しや月の新　京柳

形ゝふ石ゝて飛る月おそし　一貫

とこまてもつゝゝ紙に月の形ぶ　水紅

岩近硯箱ゝく月をえ　任他

一つ蛍やいゝとゝるゝゝの月　龍洞

名ゝゝハ水明るきはもあるゝ　越人

名月やとゝふ十二ハみゝゝ　文鱗

名ゝゝやゝいはきゝゝ月ゝ舟　昌碧

いゝゝやゝゝてあゝく岩の中　象下

名ゝゝや鞍の紙ゝと犬の月ゝ　一ゝ

ゝゝすゝゝゝえて人の月ゝぶ　冊水

名ゝゝのゝいゝきゝ

むつゝゝ月ゝゝるゝハ少も蟬　荷兮

いつの月も江ゝ高ゝて寒し　仝

名月や海も杉あを山もえ　玄水

名月や下戸と下戸とのむつまき　胡及

いゝゝハあゝきもゝぬ林ゝ　汐客

[illegible]　一髮

十三夜

[illegible]　杉風

[illegible]　芭蕉

二日

[illegible]　[illegible]

三日

[illegible]　仝

四日

[illegible]　芭蕉

[illegible]　卜枝

[illegible]　伊勢　一泉

六日

[illegible]　[illegible]　[illegible]

七日

[illegible]　[illegible]　一髮

雪二十句

[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

そうきとてこぎ出でぬる舟人
はつきとはこれぞ初めの名なるべし菴小
ものうけの姿しめやかにして一つ小
くらき雨ふる夜の漕ぎ出でぬる
雪降りしるる笠ぬぎ捨てし枝折り
雨降りて行く人の跡なし
四季はいづれ劣りまさるべきにあらず
初春や行くとしの名残り
春川　みまるまでの高麗
春川の大海より小舟の形
春川の新から鯉とる声こそ
春川の二月の末つかた
ちらちらと降る雪の
春川の海強飯

越人
芭蕉
雲英
二水
嵐雪
陰風
響行
桑下
芳川
みを文
桂夕
春雪

そうきや先づ履はいて漕ぎ出でぬ
はつ雁の声はつかに聞こえ
雨降りていくらか海の色

路通
野坡
芳川

深川
二月の末つかた
春雨の降りもかしこの花の
四月の初めの頃
初夏の伊勢の家賢人
うらうらの春の遠く
月の春の多くの
かさり雨ふる
えん鶏や行くとしの

芭蕉
新古
古梵
風鈴
其角
文鱗
去来
一晶
路通

野坡

[illegible]

園子寓の[illegible]白山[illegible]

[illegible]孫[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

大服ハ去年の冬の白し代　陽川
宮れ野ゆまいれ牛ーみてこ　大山昌樹
桑ーて園野ふとりえ棚　りる
神ふて松乃ふちまるの春　毒舌
ゆてふ白もの　世水
賢て夏の朝やたふくい　今
ふつまれめてふ賢魚て　越人
初夏や深れの樹ふられ白　今
ふんやふはふ夏の夏屋　為弓
乃四乃やふ清ふ明ふり　同
らのふやむいまれ白つる　同
我ハ夏用ふるまもふ　俊爾

夏笠武ふ帯ふ赤ふ色ふ軽の裏　貞室

初夏

若葉つ白ハ本と別畑小　茂人
粧ひて摘ふる人ある若葉　世水
七夕の浅ゆふて注ふ小　津爾　俊似
女知ふ露ふあふの若葉小　かかず　小春
例濃て袂の形白き儀菜乳　岐阜　羅
者ふふものふてをふある茶ふ形　岐阜　素秋
石泊ふつふふふ梅形ーふ　玄察小
夜ふ花ふ形ふ生無乃茶　酔歩
むふ人の色ふの氣ふ白ふ　越人
藪入ふれもふふうん梅の花　義招

梅がゝあてゝ[illegible]人迄[illegible]世中ハ　一發
[illegible]もゝきむせんの乃すいて新すき　冬柯
みの内とゝられぬる梅のさくらハ　芭蕉

洞代氏ハの奥ゝ[illegible]
春の[illegible]とやゝ[illegible]ゝ梅の花　芭蕉
うくひすの啼そこなへる梅の花　其風
[illegible]ハ[illegible]　御賀　[illegible]
あ[illegible]　一朝
[illegible]　[illegible]　一笑
うくひすハ[illegible]　同　京柳
[illegible]　同　[illegible]
うくひすに[illegible]　梅舌

[illegible]ゝ[illegible]の盥ゝ[illegible]　北水
[illegible]　壁文
[illegible]人の[illegible]　[illegible]
[illegible]　芭蕉
[illegible]や馬の眼[illegible]　乗下
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

晩の泊船のあるほとりかな　蕪村

同

蕭然く梨の乳のつゆこぼす　卜枝

まつ雨

そそ雨ハいとゞ雫こそこぼす　閑子

同

まつの雨井とゝと呼てこゝ　風渓

小屋雪

ちや坊さの高つまをとゝ白屋ル　野水

蹲の井まつる雨うる雫下れ　青牛

立向すれ　菊子　土芳　乙州

まこゝとゝ新ゝ摘ゝほゝ　丈水

すこゝとつゝみやつまのや広ゝ　其角

すこゝとゝ雫小山のもゝり土ゝ　荷兮

広橋やゝゝゝゝゝゝゝゝ　猿蓑

川ゝゝやゝ代のつゝつゝみつゝ　坂東

広ゝ日ゝ市にゝゝゝゝゝゝゝ　文

蓼亭ゝゝ人池ゝ鶏ゝ市ゝゝ　素堂

池ゝ鶏ゝ鮒ゝ　素堂

風の吹方代後ゝ柳ゝ　野水

ゝゝゝゝゝゝゝゝ柳ゝ　越人

ゝ柳ゝゝゝゝ柳ゝ　一笑

天ゝゝゝゝゝゝゝゝ　小春

すゝゝゝ柳ゝ　一水

[illegible]　昌碧
[illegible]　杏雨
[illegible]　此君
[illegible]　杏雨
[illegible]　松芳
[illegible]　按雄
[illegible]　同
[illegible]　素秋
[illegible]　陸朱
[illegible]　[illegible]

仲春

[illegible]　石梅
[illegible]　[illegible]
[illegible]　象下
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　越人
[illegible]　[illegible]
[illegible]　一楷
[illegible]　[illegible]松
[illegible]　一[illegible]

[illegible]　野水
[illegible]　信風
[illegible]　一壽
[illegible]　山崎宗鑑
[illegible]　義稙
[illegible]　越人
[illegible]　去來
[illegible]　義稙
[illegible]　津島雲下
[illegible]　一井
[illegible]　柳風

櫻桐の拍子にとまりて五月雨の
かやりの中をあるこころ
かれ芝やあるをまつて秋雨　拙餌

[illegible]　炊玉
[illegible]　百葉

[illegible]　忠知
[illegible]　荷兮
[illegible]　秋水
[illegible]　永泉
[illegible]　野歩
[illegible]　烏遊
[illegible]　大坂　武之

ほろ〳〵と山吹ちるか清瀧の　芭蕉
初鰹さや乃鳴うらに一夜の名　耶五
山吹と一つのこまゆ乃あしかな　岐阜　樵子
一さと〳〵山吹のちゆ〳〵ゆ乃つゆ　卜枝
と乃ぶらつ〳〵山吹のちる〳〵ゆ　日　蓬雨
あそぶとも山くらもぬ燕かな　玄来
玄来乃巣乃出ぬ事に燕かな　俊似
いまきゐしらぬ燕乃　長之
燕乃巣ぶ眼ぶ事ぶ　光虹
巣ぶ乃ぶたて乃ぶ事ぶ燕ぶ　茅厚
夫婦て鳴ぶ乃ぶ　旦蕾
角ぶてやそくも乃ぶ小庵かな　蕉笠

あら清ふ新ふ浦乃塔ぶ　越人
おやもるもはし一鉢ぶ桃の花　象下
人ぶ乃ぶ舟ぶ清ぶ一ぶ　三輪　友之
山ぶゆふ花ぶ笑ふぶ　荷兮
蹴ぶ乃ぶ　ぶくぶ乃ぶ　ぶ乃ぶ
箱ぶ乃ぶ　ぶ乃ぶ　ぶ乃ぶ
永きぶ乃ぶ　ぶ乃ぶ　ぶ乃ぶ　兼日
永ぶ乃ぶ　ぶ乃ぶ　ぶ乃ぶ　卜枝
ぶ乃ぶ　ぶ乃ぶ　ぶ乃ぶ　胸乃
日

初夏

こゝろもかつや白きハ抽ぶ　路通
更衣襟ぶ化ぶ乃ぶ　象下

こうもり〳〵刀もさしてうろつくれば　釈　義淳

肖柏老人のもとにたびしあり山さと
賞翫するのさまをみむけよ文雅ゆうがるる
とて亭の額に越人のあらはるると亦
ちくに唄るわらべのけしきを結ぶかつる

蛙よ蛙香もあるべしこうもり　蛙分

山路まて
ちらすまてもさてい蓼の一つ代　芭蕉
いちをつそ行くくるまんうきさと　一井
稲妻はいつくもとるとてもるをを代　越人
切うふるのをとをとくおくし稲代　岐阜　不文
ふををうくもくのみをを代　内　義羅

つけもあくをのはしのはるの蓼代　春洞
ゆらゆらとをとをとをとをとをとをとをとを代　竹洞
ゆあひしてををををををををををををを代　洒落
をけ山ゆ下ゆくゆく水乃沢行来　義子
上をまをいつのををん稲をを蓼一穂　三宮
粘をあをまををををををををを蓼の代　竹蘇
ををををして蓼のをををを稲ををを　洒落
ひきかくををををを里乃蓼代　雅可
をを芥子ををををを蓼代　宗葉
ををををくあををををををををを乃　義弦
乃蓼をくをををををををけしの一蓼代　岐阜　雲桃
大粒の雨をこをををををを芥子の花　京巡

[illegible]て拾ひぬ芥子の花　吉次

[illegible]川乃[illegible]

蕃[illegible]歌[illegible]

[illegible]

仲良　嵐竜

[illegible]　[illegible]

青の[illegible]　[illegible]

[illegible]川乃[illegible]　一鼎

[illegible]　不交

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　合沾

[illegible]　卜枝

[illegible]神乃[illegible]　路歩

[illegible]薄室[illegible]

[illegible]の[illegible]　秋芳

[illegible]梅乃一本乃[illegible]

[illegible]　山[illegible]

[illegible]　春雨

[illegible]　二水

[illegible]乃[illegible]

[illegible]　胡及

[illegible]　里行

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

岡松はらしくてもかき水鶏哉　肥前
あらくまの柳きはまはれかな　大津　一笑
この比は小粒みかりの角　南谷　乙州
五くさの角は籠にまるかきを雨哉　波阿
波阿さく
行のうしさしさしの指縄哉　臭室
行のーの雨はさく
却のうくてやくくかりき鶏哉　芭蕉
却のーく
鶏のーくも角くれて憎し　義兮
同
多あくハ鮎も峰ん鶏飼舟　越人

先ゝの乃新もかすめる鶏哉　大津　淳児
曲江の角のくくあくもねる　梅舟
野の乃巣乃乃くくあくりあるハかの方　路通
松芝乃緑と乃くくる方哉　卜枝
虹乃根とかくくれ哉中乃樗哉　泥可
蘭乃花や流ふとあく雷の細　公
鶏くくや鶏絵書人とくくれん　越人
今ーや灯のこくあくあるあさ　義雄
百合花歌やくくきゝ芝蘭雲　旦藻
蕎の角くくくくくくの
すゝつくくくくくくくくの　甚角
夕くくや秋去いくくくの飄くか　芭蕉

ゆふかのうらにふく人乃たてぬし　世永
夕白い波乃ゆくへもしらぬさま　俊成
山路ゆくくろ白いはなのさま　清原宣賢
名ハ雪ちる海乃白ハ魚ニ似たる　光敦

暮夏

梅も散しくやうし輝乃夏　昌叟
さ乃峰膳乃ゆ仏たくむ乃　世永
夕ニハ二ニ余乃めくる頃乃　金十下
高ゝ一さ乃枝ゆ乃ぬ乃　玄旨法印
涼　さ乃向乃ゆ入日乃　玄朱
簾一さ乃涼ゆ富乃ゆ乃ハ　荷宮
くき夜乃ゆ乃あつ乃ぬ乃　日

行ゆ乃人ニ逢乃ゆ乃　時海
乃ゆ乃　石ゆ乃ゆ　如風
涼乃ゆ乃　岬乃下ゆ乃　清輝　俊成
挑灯乃ゆ乃　下ゆ乃ゆ乃　公
ゆ乃ゆ乃　ゆ乃ゆ乃　ト部
吟乃ゆ乃　ゆ乃ゆ乃　赤学
蓮みむゆ乃　ゆ乃ゆ乃　岐阜　秀正
ゆ乃ゆ乃　ゆ乃ゆ乃　松永　貞徳
河骨ゆ乃　ゆ乃ゆ乃　吉苑
ゆ乃ゆ乃　ゆ乃ゆ乃　芙雄
ゆ乃ゆ乃　ゆ乃ゆ乃　也好
ゆ乃ゆ乃　ゆ乃ゆ乃　俊似
連あまた待ゆ乃　ゆ乃ゆ乃　文陳

川をくだる馬のあとをとゝめかねつゝ海苔をとる舟
出雲にゆく幕をとゝめかねつゝ
蘇乃家はやこしぬけるの路
治郎左衛門後の住居
綿乃花を見て

僚月
高白
一髪
卜枝
岐阜
東子昌長
越人
素堂

初秋

ちゝゝかやゝ麻刈あとの秋の風　越人
稗乃穂やゝ出るもゝ月の風　圓解

雲峯のさかく
一葉散　音〻　ゆきもとゝし　仙化

ふるのゝちゝやゝ穂の夕ゝきし　河合
野ゝきの羽織袴昼の手向ぬさ　李雨
幕ゝ出る法師のまうしろ　芭蕉
あさゝの乃白きハ三尺ばかりなめし　文鱗
子を守るあの子ハ何白ュ物で　苔丸
鶴の子はやゝ子ゝ子ゝ　同
あさゝの乃ひくゝしの水を踏る角　野歩
葉ゝ乃葉ゝ葉ゝ葉ゝ　胡及
秋風やもゝ月乃ゝ屋ゝ　氣徳
涼ゝさを産よりの鱠ゝ　玄丸
昌長

畦ごとに蒔置く稲の穂ばらみ　警行
ちらほらと穂に出る稲の穂ばらみ　一髮
きりぎりす鳴くや霜夜の月さむし　素秋
あのやうに稲つまとなるさうな水　芭蕉
いなつるやきのふの山を見ふる西　芦角
ふま出すもちの汁うつるや萩の花　夏泉
ひとうねに植ゑかはりたる花　芭蕉
棚作るうちはまだ蕎麦の花　作者不知
門ちらしくかりぬ蕎麦の花　伏見　伊口
きえんきれぬ蕎麦の花　花兮
行くや掘ゑ蕎麦の花　胡及
宗祇法師の句をもてなして

名ものしらぬ小菊の花さく　肥前　素堂
しらしらと乃掘る根にうきすまし水　俊似

仲秋

かりがねよ鳥乃ちとなる秋の雲　芭蕉
つくづくと鈴虫乃ぶる秋乃扇哉　加賀　小夏
谷川や茶碗ゑとく秋乃うら枯れ　陳留　益音
石切の音も少なくなる秋乃うら枯れ　象下
餅乃ねや掘ゑ掘ゑ出る秋乃蕎　卜敲
蕎乃ちゑよ人乃ちゑ　一髮
因て畑に猪ゑ出るの巳蕎麦哉　伊勢　泉
山海ゑ蕎麦ゑ出る秋乃ちゑ　文子
紅葉ゑ出るとたちゑ入る海乃同　芦角

[illegible]　東順
[illegible]　越人
[illegible]　宗和
[illegible]　少枝
[illegible]　越人
[illegible]　[illegible]
[illegible]　胡及
[illegible]　晩籠

[illegible]　甚角
[illegible]　芭蕉
[illegible]　笑
[illegible]　巴丈
[illegible]　昌碧
[illegible]　越人
[illegible]　晩籠

かくらけのまきくるをもとめて
菓乃つゆ洞る人や鶯帽子
ふるかうて菓似ゆくかひなし　同
かるくらして芋をまつ人まれの松事哉　二水
淋しさの檀那寺なれば　伊藤千園
孫る松ふもいこうしたちのや梅かき　深川芦夕
芋乃穂やよりゆくくるかるあられ　加生
初冬
あ笑つらの乃そ紅しふるの雨哉　湖哉
京ふるうんるの乃つ乃ふ
一茶ふるいこ弁ちるうふ初ふ
ふるふ乃紅打西の巣こ乃夕　尚白
淋水

万句自慢乃ふ　荷兮
えちう寿ふ人の中ふ村雨哉
人と冷うふ中
ち乃ハ行ふ〜ふ乃ふ　義稚
酒ふ乃ふ酒のふ乃ふ　紫玄
後一字ふ乃ふ　傘下
こか乃一ふ二百乃月乃野ふ乃ふ　荷兮
一抜ふ乃ふ柿乃ふ　一髮
このふ乃ふ乃ハ淋しき岡猫哉　同
抜ハ乃ふ乃人乃ふ　同
ふふ乃ふ乃ハふ乃ふ　春晨
梨乃ふ乃ふ乃ふ　北子

蕎麦乃いつらんらんや帰花　昌貞
麦まきく寄麗まかりし菖蒲　仝
乃ちちやまきくにのちく　一井
懸かの紙芝みくあるる宝燈　落梧
石臼乃ゆりくおくやうの花　胡及
きくくちくさハみのこ柚子　文鰭
あしにに紅白紅の葛うれ　卜枝
かき桔梗風乃結ちかき柵　同亭
蓮池ちうちハこゆる結茅　一髮
寄ちちく石きうまつかく柵　松芳
こかしにに咲にりり寄の巾　杏雨
寄指乃蔭ちひまちる蕾ち　蕉笠

三月
姫と出くく夜くく月を而かき　卯水
あき漬乃大根ちかふ月松ち　俊似

仲秋
松ちかく陰ちつかる影ち　津盃
ちく流ちつ月ちくかちに影ち　勝吉
樽よちる蕾ちまきり月影ち　雄盃
葉乃月ちに流ちくちる蕾ち　藤蓼
いくくちちに出ちある蕾ち　春雨
寄乃新ちんの実のこかちり　宇之
形棚乃菓乃菓乃ちん水の形　村風
流き池水乃ちきま秋きりり　稀吉
俊似

つきなんとせんかたなきにうき渡水　隆風
ゆく春をとゝまらぬ氷かな　嵐雪

題　舟

岸より舟をあやつる蓮木哉　蓮保
ぬりこめて舟をこぎ出す蓮かな　荷兮
我とこぬをこぎ出す蓮哉　芭蕉
る蓮の舟出の月出る舟の月　一井
舟を出す川や紙ぶすまの蓮　乙州
つりつゝくれくゝ舟の蓮の花　舎帖
舟をこぎ出す蓮の花　鳥炭　忠知
舟をこぎ出す蓮の花　兎角
舟をこぎ出す蓮の花　村俊

井とゆるものハ六月ゆきハ
歩行ハ男ハ力ハ弱ハ
行舟ゆ谷ゆ岸ゆ氷室哉　舟杉
海風猛ゆ寒ゆ氷室哉　利重
岸ゆ軍ゆ氷室哉　乙州
勝節ゆ氷室哉　源車
出ゆ氷室哉　一仙
いつくゝ氷室哉　乙州
氷室哉ゆ氷室哉　芭蕉

歳暮

餅つきや門ゆ出ぬ日ハ
音ゆ氷室哉ゆ氷室哉　市中
音ゆ氷室哉ゆ氷室哉　尚白

あち花の落ちすくらぬ
をふ道く樽つ[illegible]畑ル　無名
蝶をし小蝿の戸けくる鶏り舟　一貫

ふるの内ふくくる人ハふなる
とて杯乃実ふくれらく五年　若今
の若とふ[illegible]かりみせて
とてハられ杯乃実一つくらく　門雪
門雪ハ[illegible]て蛤一[illegible]　春洞
田仙ふ[illegible]ふ[illegible]の[illegible]ふ舟

雜

年中行事　内ト二句

供屠蘇白散

いきの少ゆとそ[illegible]人[illegible]　若今
[illegible]
[illegible]の[illegible]
石清水臨時祭
[illegible]
灌仏
[illegible]
端午
杉[illegible]菱[illegible]
施米
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

湯殿にて拭ひ落す事よりこゝろ

池経人蓮苔を謝

蓮乃葉のもゝ[illegible]

暑月貧家何処有客来唯掃地忘風

涼処とて訪ぬきみもなし此乃すゝし

大底四時心穏苦就中新腸是秋天

吉の弦ゝ遠くこゝろ[illegible]秋乃元

秋毒風雨後秋氣飄然

秋乃雨ふるとゝ瓜ふるとゝ

遠ゝ鐘漏初夜寂ゝ星河欲曙天

花ゝ[illegible]

殘影燈間猶斜月窗牖

猶ゝ春や浅ゝる色まゝの身

乃物秋素色

小雪や素部て乃ゝと秋乃ゝ

十月江南天氣好可憐冬景似春義

こゝ乃しもゝ[illegible]

寂寞深村夜殘雁雪中閑

涛ゝ[illegible]

白沙松蔭鉢名酒

鄉音乃腰懷く白髮乃

徑園乃撰ひのこゝ拾ひ

きゝゝに[illegible]

かゝゝゝ乃夕日ふいゝ[illegible]

付木実
鉤縄 繩打
糊賣
馬糞撥

[illegible]

[illegible]

[illegible]

午　水行山より蔵王上は踏にくもる　粉水
未　陸は青々と武尾の原より夕今にくもる　児竹
申　あらし雨や降しかと思ふ間に晴　含帖
　　雨ふりて生と思ふ間に晴　今
出羽　庶篇乃上をとつらねあるかと
世多　略窓乃外に秋長き日あり
甲斐　枝ふり出うる外蜀漆の邦
海奥　秋ふり〻と翻引ふ盆乃月
川奥　秋乃皆移川〻乃火蛍り　含帖

牛馬四足之道謂天蓬馬前等牛尾
是謂人
一方を枝さく桃乃陸奥の邦　越人

蔵舟於壑　蔵山於澤謂之固矣而
夜半有力者負之而去
愚昧之豪知大盜乃止
七夕を為ふ〻ふ〻ふ〻ふ〻ふ〻ふ〻
鎖音矢
歌ふ〻ふ〻ふ〻ふ〻ふ〻ふ〻

うらくしくみよみうる前　　去来

一体

ながめ（ながめさらば）やあけぬ空　　瑞水

清越

ながめ乃ぞくうひもあきらつる水　　義隆

山岩

おく山に霧ふ減るる岩乃皐　　瑞水

梅岩

苔ふる（ふるる）ふるる去もあるるる　　仝

名所

八重うすく園ちるしほ秀田代　　杜国

――――奥乃宵や式部乃古江山　　芭蕉

かぶ清乃雲に花より朧みるく

茅屋一枝ふるて花ふる波乃水　　瑞水

嵯峨ふくるるあ命ふる花曇　　芭蕉

野留楢鵜命

春深る思猶ふ泊ふる乗　　舎帖

関ふるく六文ふ山ふ　　宮城野

英波國関ふ乃山ふ花乃

ながるるふるく吟しるる　　杜国

黄蝶出ふ命ふ春ふ　　更衣

麦ふ山や門ふ白ふ　　芭蕉

あふ雨ふ水面の藤　　玄番

湖乃ふ春ふ乃月雨　　玄番

牛もおしらぬ月あるの月哉　一貫

角田川

いざのぼれ隅田川乃新合句哉　貞室

みくりのそいふる秋立夏乃哉　徳元

いさよいもまくしさしら乃郭公　芭蕉

夕月や秋よりなるる角田川　越人

九月十三夜

唐土も富士おもてりる乃月もなく　素堂

明安乃こゑ乃田ゝ　胡及

明安乃月のあ月のむこゝ乃　測文

武蔵野やいくつゝ乃月明　永泉

海と空ゝ月ゝ乃ん村ゝ　尚白

乃ゝ清やとゝ乃ゝあゝ　伊藤　砧友

むさゝ野ゝ乃ゝ月乃ゝ　洗要

発つゝしゝ牛ゝ海ゝ乃ゝ　後似

みゝ乃ゝ月乃ゝ宿ゝ　津角　一笑

ゝ乃ゝ富士ゝ　端水

ゝ乃ゝ　姓水

ゝ乃ゝ　芭蕉

ゝ乃ゝ　如行

張

ゝ乃ゝ上ゝ　芭蕉

大和国平尾村ゝ

張乃清流ゝ　仝

[illegible]里に賦するに通ずるうり
日乃入や西まるを[illegible]に就乃花　夕就
のしらべや深乃[illegible]乃生るか　一鼎
[illegible]うしつゝ[illegible]ぬるゝ　芭蕉

ある人乃餞に
[illegible]きん[illegible]を[illegible]うり　涂風
森いしあゝ金[illegible]を[illegible]　昌碧
[illegible]ところに[illegible]の後[illegible]　杉芳
[illegible]雨や[illegible]桂月と出る[illegible]乃[illegible]　葉下
[illegible]のたゝ一[illegible]は[illegible]
芭蕉[illegible]と[illegible]
[illegible]つきる別乃[illegible]　泊雲

なきくて秋よりは秋乃涼　一井
あきれ[illegible]ゆ[illegible]乃[illegible]　野水
[illegible]ゆ[illegible]秋乃[illegible]　示衆
[illegible]れ[illegible]と[illegible]　嵐雪

[illegible]
文[illegible]乃月[illegible]　芭蕉
越人[illegible]二人[illegible]れり　為可
月[illegible]乃[illegible]　世話
[illegible]乃[illegible]　芭蕉
[illegible]乃[illegible]　路通

[illegible]

荷兮　京ちり

[illegible]

玄察

一井

品川の澤庵の墓にて小の秋の寒

文鱗

[illegible]

芭蕉

[illegible]

清秀

[illegible]

荷兮

[illegible]

[illegible]

越人

[illegible]

[illegible]

宗因

[illegible]

芭蕉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　　杜國
[illegible]　　梅舌

高野にて

父母乃ましますかたは[illegible]　　芭蕉
あやぶきふく[illegible]　　[illegible]
さくら人深山おろしの一聲　　同
一本乃あらしも[illegible]　　青雨
[illegible]　　[illegible]
似てしら白髪ふかつく麻衣宮　　[illegible]
[illegible]　　[illegible]
かんぶ宗やよる人葉乃中ゝ鶴の巣　　[illegible]

[illegible]　　曉龍
人乃いらぬをとゝ[illegible]
[illegible]　　芭蕉
旧里のくるはゝ[illegible]　　杜國
[illegible]
[illegible]　　越人
あるくのかゝりゝ[illegible]
一[illegible]
[illegible]　　[illegible]
[illegible]
[illegible]　　[illegible]

[illegible]　立春　西武
[illegible]　芭蕉
[illegible]　陰風
[illegible]　越人

[illegible]　[illegible]　一有妻　除風
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　文鳳
[illegible]　[illegible]　[illegible]

さくけり　妹の坊ら[illegible]　心棘
[illegible]　[illegible]　長虹
[illegible]　[illegible]　尚白
[illegible]

つま[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　小春
妻[illegible]　[illegible]　越人
[illegible]　[illegible]　後似
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
山畑[illegible]　[illegible]　松芳

きめくをとる数見ゝて聞うり　文行
おろかしやきめくの比ぞ浮き　昌望

無常

末期よ

数る花と思ひ込ぬ法師とも　宇武
さそふ風迅速
咲つ散らぬ花ちきりの鼻水　象下

末期よ

南無や空さくみる内のほとゝぎす　堺　元順
杜鵑の法華といふの多ろう
ほとゝぎすの法華といふの多ろう
備りの法華ぞ多ろう也　茶ゝ

いろゝとの遊ぶ客ぞ
まろうくまいあるく法る宮ろう　京　去来
ある人ろうくみられる時ゆきぞ
ある花の小瓜とゆるらきりろ　嵐雪
世とくらくし書ゆ多まろるに
秋ぞ月の相の二葉とくろ八一　聖水
辞世
あるゆし数笠車一つよ　コ斉
子ゆをろ花ゝる比
何ゝ花の多ろ出くろん一雫り　高梧
一原世ゆ
をく高や小町ろの乃ゝ乃ゝ　治竜

妻乃遊[illegible]

をゝ[illegible]一一[illegible]ての里人[illegible]のか　自悔

雪下の妻乃こまゝとはさで

[illegible]やかさ[illegible]の[illegible]小[illegible]　玄苔

コ斎　分まゝ[illegible]し後

その人[illegible]鼠[illegible]く[illegible]一秋乃[illegible]　其一角

母[illegible]れ[illegible]乃[illegible]

[illegible]ふ[illegible]や[illegible]ら[illegible]人　小秋乃[illegible]　尚白

ある人乃遊[illegible]

[illegible]ぬや[illegible]の[illegible]る　芭蕉

孫[illegible]み[illegible]

あハ雪の[illegible]の[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]　義淳

[illegible]辺世[illegible]や[illegible]師乃[illegible]　小[illegible]　小[illegible]春

釋教

伊勢[illegible]

神[illegible]や[illegible]世[illegible]涅槃像　芭蕉

[illegible]ら世[illegible]　嵐淳

西行上人五百回忌

[illegible]　春兮

[illegible]

連歌

[illegible]　胡及

うて[illegible]乃景[illegible]二[illegible]式　松芳

[illegible]く[illegible]雨乃[illegible]　和圃

[illegible]ゝ[illegible]乃[illegible]　[illegible]松

[illegible]

貞享つちの一辰乃暮秋生一日　其角

東照宮乃別當僧正乃心房に遊ぶ

[illegible]

[illegible]

序品乃こゝろ

散る花乃なごりをしむ人乃上　越人

世間乃駄句不[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]て又[illegible]れ一叶白　氣屋

[illegible]謙舎乃安国論[illegible]て

[illegible]や[illegible]や[illegible]　幾人

[illegible]乃[illegible]　[illegible]

曙や　加[illegible]　乃[illegible]　[illegible]　[illegible]

日

[illegible]やうに二[illegible]乃[illegible]　[illegible]　後似

つくり[illegible]こい[illegible]　一井

[illegible]療する人のさいをや[illegible]　文陶

千[illegible]　[illegible]のくれ　[illegible]角

藥[illegible]品[illegible]

如[illegible]者[illegible]火

[illegible]白[illegible]の[illegible]　胡及

如裸者得衣

[illegible]乃[illegible]や　[illegible]拾[illegible]あまの家

如[illegible]人得主

[illegible]乃[illegible]ひて[illegible]こひつ[illegible]

如子得母

[illegible]て[illegible]

如[illegible]得紅

月乃[illegible]清乃板[illegible]

如[illegible]得醤

[illegible]く[illegible]清水[illegible]る[illegible]

如暗得燈

秋乃夜や松ひゆゝしきよ起こゝろ

神祇

古へあやゝゝるゝ神ゝ　詠者

二月十五日の夜の月乃梅　荷兮

ちんゝと梅ちらるゝ夜ゝ　同

雲もなれあひてこゝろ神ゝ　乗洞

上下乃さいしあるやうに神乃梅　岩陽

物乃かゝるかゝる梅乃中　詠者

行ゝ春れゝるゝ梅の花　越人

ゝゝ形ゝあらぬ神乃梅　玄象

月代もゝるゝ梅乃ゝゝ　雨桐

門あるて梅乃陽籬　詠者

絵ゝるゝ人乃陰乃さゝ　玄象

ゝゝ乃ゝゝ遠梅ゝ　詠者

ゝ乃隠川後ゝゝ　中秋

ゝゝ乃梅乃中の隠ゝ　野水

行ゝ民乃ゝ乃中を通乃　玄象

ゝゝ乃ゝ知ゝ乃ゝ　雲洞

破扇一文ゝ乃ゝ　未学

川ゝ延ゝ後ゝ　荷兮

ゝ乃ゝ梅ゝ　尚白

四月乃ゝ限ゝ神霊　松芳

ゝ乃ゝ　梧

[illegible]問

きゝそめぬるかも　利之

江戸の森　[illegible]の神の森　北水

浅草川　[illegible]　昌碧

かつしきの神　[illegible]　射俊

[illegible]　[illegible]　卜枝

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　越人

[illegible]　[illegible]　[illegible]卜

いきとしの月日乃とこ[illegible]　[illegible]

[illegible]代乃秋に[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

曠野集負彩

[illegible]河行[illegible]ぎと[illegible]れる市中
[illegible]して[illegible]の[illegible]き[illegible]葉[illegible]東
四明の[illegible]葉[illegible]く[illegible]花乃[illegible]
[illegible]て信州田[illegible]六の[illegible]の山
[illegible]といふ[illegible]を[illegible]
[illegible]
[illegible]乃[illegible]て[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]人

仁

[illegible]て[illegible]
[illegible]
[illegible]

ウ

風の目利を初秋の雲
武士の高きに山を越
志をよついて鹿の啼き
袋より紙を出す乃うへ
はづして落ちかゝる雨
之くを松の枝の端
手白いしなる小山の
ぶらさがり一文字鶴も咲
あてとゝもなきの名残
高の弟子の師匠の
形式をなるく
明るく西も東も
雑の事

二

さゝなみの利根の川水
みなかみの方てゝ
ふるゝ雨の
ぶるゝときの
孤つきやしの
指末の所氣の
さやくこの
夏の新ら合よう
秋よるゝ里の
家さぶれ歩
ふしとものの
かゝこまる諫よ

火鉢のうもれてもなほあつきし　今人

うくひすの声をとゝのへかねて　水

あやまちと知りつゝ他のかたぶけ　今

ぬれぎぬ着せられぬ　人

袖ぬらす恋路の水の深き　水

思ひそめしこゝろ浅からで　今

夫猟きぶくに手にいるぞ

遠浦や流れ寄せし藻の上に　春雨

はるれば海人のあき里　荷分

のどけさや海と空と解て　昌豊

面白の懸る葉ぬきうゝ　世水

夕月の雲の間をとうら泳　永泉

紅葉の錦の袖ぬれ　詠者

一筋にて　古　錦　秋夜女子

色の色よりそめし　春雨

赤すそ引の袖少女　荷分

いくつともなく　昌豊

陽炎はいとのとゝ藏造　詠者

岸やとゝ延ものてゝ　永泉

うゝかさ　世水

秋風に女車の　荷分

袖ぬれ　春雨

袖ぬれ　詠者

紫の法輪

時しもあのさくらあの花のまち
八重山吹はちりちるぐ
日のいでやそのちん暗よ　昌碧
んやとけぬ山とも始る　利　北水
向まで家やるそぐの少のよ　永泉
垣離うく人乃ちの秋蕾　亀洞
砧ふて干魚乃かゑ　花碧
ふうふるあるの乃ちぐ　永泉
むくるは山ひつく赤腔　北水
門とるとり苔こむ　花碧
いとこそ是所乃萩原　乗洞
れもう田瓜　汐老

山七口ちぐりの下戸の月　昌碧
やまつ秋乃やあがもちは　北水
ぐらもれうる窓の家　永泉
れちもれ伸き安房乃小漆　乗洞
夏のやうるの思ひて　花兮
桶乃かつを入しまひ　昌碧
くふ窟岩さて如月　汐老
ついちとエ夏鶯進　北水

雪しき解うき乗乃氷　永泉
折乃うかまきり乃鶯　雲著
夕嵐深拙とてうふん　冬文

きぶねいきやくらくるよりあるる月の新　荷兮
秋草乃とてもあるき秋咲ぶれ　松芳
ちひきるぐる勝去樣とく　永泉
ふもかすの拾ひとしとち生る　荷兮
るるもるく　秋乃中乃赤乃ぶし　冬文
出嵐乃皮乃うえ紙ぶき　永泉
流えん踏ぶとうち紙ぶき日つく　松芳
富江ら秋踏ちぶしてで為まる　冬文
河乃まる猫ちてちの　荷兮
紀年ち出れもせんぶ月き　松芳
ちちで知島乃山絵紙先えるる　永泉
ちふちもうちちる花の月　荷兮

月乃俳や花ふる井乃石　冬文
竹にもれたちひつてまれ風　永泉
踏踏ちうけく根泉乃うえ　松芳
二　陸連辰も入歳よ乃ちぶる　冬文
十日のまく乃れちもし　荷兮
山里乃秋花ぶしと生鰯　松芳
半秋かくうへるやさ　永泉
ざぶくとふぶれ紙海る月の新　荷兮
馬乃とちれぐるるいるく　冬文
さしさら金井乃高乃冬北雨　永泉
蓮如まくく芸高東あつゆ　松芳
つくぐと源ゆきち月のとまく　冬文

曉ふく嵐ぞ秋の夕ぐれ　よ　む

けしの花とアるまとゐ乃ちよ　荷兮

咲ぬるとそ乃の時きハ　松芽

味噌をるとそ乃の時きハ　丹泉

ウ

芋焼乃門さまらしげ乃蔭乃　荷兮

法寺ゝゝまあらくゝ乃ちまて　夕文

寺乃鈴赤風くゝきくゝあらく兒　丹泉

鄙ゝ乃ちもどる　牡丹　孤さち　松芽

きゝゝぎや　曝市　とかひ乃　板をこめて　夕文

ちゝ乃面乃き　山口　乃　家　荷兮

ゝゝぎゝ　孤　乃　家　荷兮

雨乃ゝ乃　柴　乃　ゝ　乃　ゝ　乃　ゝ　世水

川すてゝ車ハ陸奥乃かぎきて　円

あゝさぶ　ゝくも　ゝ　乃　ゝ　乃　ゝ　荷兮

月乃秋　孤乃　ゝ　乃　ゝ　乃　ゝ　円

一ゝ乃　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　世水

初　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　水

葉畑　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　兮

土肥　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　今

乃刈　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　水

通路乃　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　今

六位　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　兮

代　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　今

淺一　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　水

第一

月乃秋雪はぎるいとぐら暮　全
花咲りうとくんちちの物　芳
天仙蓼る冷今あはし蓼の雲　全
うとぐひうみよ富士乃中　水
たじんとうてゆかうちをを　全
みをうき酒ついでやる　芳
弱乃やど咲ふ侍波ふ小甲斐　水
秋乃あじゝ昔陣　酒場　芳
ゆをくくしちぐ生尺魄　水
八日九月乃ちまといるまぐ　芳
山乃端と松と振とのかをる　水
きつきうぐこまぐくとふる　芳

星ぬきしやや拾ゞけ引むすび　全
太鼓たゝきよ浦子のゞるゝ　芳
ごうゝと集ふる本住乃押松　芳
氣だて乃ぬきと舞まゝ　水
月をもきぬ彩かて一二月　全
庭をつゝく拾ふ居ゝ思ある　ゞ
ゝゝ乃ねむづゝと出ふぐる　全
供寺乃艸鞋をゆくこまこゝ　芳
時くや小松大京渓嶽乃花　全
人頭ひよ形はる乃川　山斤　寿

月さゝの行ゝ元吳八豆乃昌也おく雪

初冬のころ柄とさーさらばよき園ゆく
宗瀧法師の句の句でおむど出でよ夏乃
夜乃 病とふ名紙をもやめぬでぎけぬ

月は柄とさーさらばよき園ゆく
野乃行るをうの夜の病 越人
とらうら秋 詩ぶ 恋ろへくこうぶん 夏下
行無しぶ々おきしうど始きしの穴 日
きい庵程つくへ行きへくにくうかを 人
使乃ふるは 返るの まゆ はて うぶ 日
あ小これと猫乃 ふを選るまぶ 季
とくくるまで ほうしうう 下
どこでやすは乃 筋をて 拙ふる 日

イ八

よを行もふぶは ふ白い 人
太陽乃人は 法華とこふ水て 日
月乃夕は 酌瓶縄 う 川 下
笠は 柄も又ふ きも皆 日
秋乃ふ きれ 畑みる 人
いぶ はよいつう 世ば皆くべき 日
森ふぶは書ふ字のゆぶ戸 下
花乃笠ふ ふへる ひふ 涼ふつ 日
ふるのし 鶏乃 こふき 春風 人
ふち 拝て 浦乃 苦乃 法 日
門へふいてな 秋 ゆる ず 下
酔ざ笑の ふの 鉢ふ れ 日

ものづくりの雨乃降出　人
歌合舊古蓬莱　はい
まつ敲立乃　下
竹葉乃陰こそ　日
白とおもひきりく　人
ふく風ふるのこゑ　日
半ハこもれ　下
むつくと　日
人の鐘ふるの　人
にぎハしく所や　下
三ヶ月乃こゑ　人
れろくとふ　下

皆月青々　余仏　人
百姿もくるひ　下
田樂きりく　人

深川の秋　越人
屋ぐもの　芭蕉
酒ふるの　今
茅屋乃月　越人
聖徳太子　今
蟬蓑乃大きさ　芭蕉
風ふかく　今
なかるゝ安ハ是名利の地

医乃おもきこゝ地用ふる行れ　越人
いそぐと思ふの声ふる出く　芭蕉
花とりて活やく寺乃沢とり　越人
けり　ふたきし云唐れ名をつゝ　芭蕉
ゝ結そゝもぬ雨乃あゝがの　越人
きめぐやあまりうぐいくあてやふ　芭蕉
う聚ひきたもし　夢のうゝし　越人
月もつゝ彫ぐ　云の心猫もすぐきあ　芭蕉
おい鶏ぐ　鶏ぐ　知き亜路し　ゝり　越人
月と雨比云乃ゝ拓と少まて　芭蕉
ゝ花さへづるこゝの風ぬぎし　越人
二　彼岸　戸の新うち付る春の未　今

ゝをいさびしきのひきゝ
家ふくて脂ぬゝ　ゝ　ゝ　

さいくかぐ文字 問ふらる　蕉

いうかく庭の毒薬や　人

秋をせるる刀 痩てうひふき　蕉

もの比 淡義もうらやまし　人

田かしをうる 腥きくち　蕉

翁ゝはなれて有る人の名づけきゝ　其角

菊萩の庵を引づりて　全

飾はつられし栄をあるぶらる　角

月うるゝ祖ふるる文元　全

遠ぎたうおさ　人

振る涙おぢ　全

静御前 初ぶ義とまりて　角

空隙の蠟燭の燈乃れ　全

あるとうりる金二万　人

いとおしきまと他人も名付　全

やけどかとてんつらよる　角

汐熟き耳よつきるさ　全

奥とつふぬ月の江の舟　人

て笑いうの富士ハ浅茅秋の暮　全

もとまいる草乃一瓶　角

饅頭とうれき袖よつこる　全

うき世をつけてなぬ人は扶　人
西の東方鶏も目をはらん　全
よりや鶏鳴の音乃うぐひす　角
あぢきなやとよきまるれの事　全
鶏の鶏とも名乃歌さのまん　人
やゝ行毋ひ庭ちねぶ世鶏ねて　全
米つくまゝ師走じうり　全
夕暮宿乃もちを後のゝ河　角
いくつの笠とも荷よ強力　全
宮ちを塵うちそひ州祝　全
ひいかぐりて伊勢の八朔　人
満月よ不断さめぶと詠めぞや　全

十二

念者法原ハ秋のあよりぜ　人
夕おろれおろうふ外き愛　全
ちちくびする宮あけのまし　角
乃ぞ〻ちを今の結字坊ひて　全
ものきゝうゝぬ馬士の風とう　人
夜の香よあさつき膳そゝし　全
むしろ義べき魯漬の　全
赤あらしに初汐ハ人の碇やまき　嵐雪
秋うゝそゝいつも湯　嫌　越人
月の中書をうゝちゝ終まぬて　全
和面茶の草子をけよ　野

さくあひて牧みまどらぬ里のつる　仝
川越しらぬ水ぐ堤下のくち　人
病癒の遊ととろかれぐ菌の穿　仝
唱ふ可いとふぶ声わそりけ　不
あらぐろうろうれぐのうきとそ　同
後をひよぐとしかぐをるおき　越
と教よりも使あぐするおざそき　人
ひ鈴とてかへる法　脱
笑和と禍みうてと一つ　嵐
明日を繋るるの月新　素
ちくふるの辞て法ある女　越
つ月不の医者乃後姿　人
や　素

ちる花よ日ハられぐも毛必　越
くぐこそとくハ何とくふん　人

初京やこくしのびる桐の雫に　豊水
日のみーーうきしくみ乃秋紀　法倍
仙川や移のあらものとさびん　仝
鮎を越かトくるべうりうと　歌乃
移ぬあさよ押会月ま菖乃法　月
あくくとぐ　毛梶の萩　法倍
川越乃歩みさられ秋の雨　水
ぬがと痛ぐる秋のきくふ未　梧
ひっせこ法ひうふくうくる縁の下　水

[illegible]

[illegible]

[illegible]

淋しう荒れ行く見るとても
夏雨乃くらぐらう降あえぬ　同
ぬるこうへと雪霰降るか　水梧

一　里乃岸寒ハいつみく紅葉
加市ひの生の瀬氷る　軽　一井
さきくさや西風沈川を渡ぶん　蘭陵
肩きぬ　そづれ泥ゑ人　胡及
月の入ぎは星き塘ぎハ　醉　長江
たくふに錦とつくこと　蘭陵
里深く編成ゑ二三り　秋　一井
ゑ月が妻ゑ行ゑられて憂　長江
胡及

問りゑも深ゑ地の云ゑくき　一井
著ゑ詩とぐきく切ゑぐく文　蘭陵
うとくと寒ゑ帰郷ゑ　胡及
宝ゑ卯く秋ゑの越乃　長江
たふゑのゑよぐゑ　蘭陵
蛤とうハゑゑ女中　一井
浦風ゑ脛吹ゑゑる　長江
みるもかこきゑ紅葉の　胡及
ゑ者のさ矢射く彩る　一井
蒜ゑ香ゑ遠ざうとう　蘭陵
はるのゑれあときくも　胡及
唐子乃編乃裾ゑ落　長江

そらかしこるに内もさいくるを洗　蘭渚
産衣などある故金を洗ふり　一井
水ぞきこにあるうるおしの枝　巷拙
秤ようるく人〳〵乃自　胡及

此年よりて交の訳も面来　一井
清らぐも変ぞるつい産入　蘭渚
巷ちぐ漆子乃後乃うれ宮来　胡及
こまるうるおるるよばし義のそ　巷拙
沛を頼入きこのるれそうるぐま　蘭渚
衣引ぐる人　乃見　言　一井
毒ありと瓜一まれも咎めし　巷拙
斤風るちく　白雨　胡及

報奉ぎく踏乃ぐ産乃内　一井
るるの乃めけしる恵来唐也　蘭渚
ぬくくと口見乃きれぬ義墨　巷拙
見ひるきるるつぐし　胡及

百韻一
歌仙三十八　芭蕉所次二
半歌仙一
追加表六句二　芭蕉所次一
合四十二卷

[illegible]

大勝院[illegible]

安[illegible]永きこゝのつのよ

長[illegible]

安永三年甲午冬十一月吉旦

東都書肆　山崎金兵衛
富田新兵衛
西村市郎右衛門
野田治兵衛
井筒庄兵衛

皇都書舗